

## 平成28年第2回那須烏山市議会3月定例会（第5日）

平成28年3月8日（火）

開議 午前10時00分

散会 午後 3時52分

## ◎出席議員（18名）

1番	相馬正典	2番	小堀道和
3番	滝口貴史	4番	矢板清枝
5番	望月千登勢	6番	田島信二
7番	川俣純子	8番	渋井由放
9番	久保居光一郎	10番	渡辺健寿
11番	高德正治	12番	佐藤昇市
13番	沼田邦彦	14番	樋山隆四郎
15番	中山五男	16番	高田悦男
17番	小森幸雄	18番	平塚英教

## ◎欠席議員（なし）

## ◎説明のため出席した者の職氏名

市長	大谷範雄
副市長	國井豊
教育長	田代和義
会計管理者兼会計課長	羽石徳雄
総合政策課長	坂本正一
秘書政策室長	福田光宏
総務課長	清水敏夫
税務課長	小口久男
市民課長	佐藤加代子
福祉事務所長兼健康福祉課長	網野榮
こども課長	齋藤進
農政課長	糸井美智子
商工観光課長	堀江功一
環境課長	薄井時夫

都市建設課長

高 田 喜一郎

上下水道課長

大 谷 頼 正

学校教育課長

岩 附 利 克

生涯学習課長

佐 藤 新 一

文化振興課長

両 方 裕

◎事務局職員出席者

事務局長

水 沼 透

書 記

大 鐘 智 夫

書 記

塩野目 庸 子

○議事日程

日程 第 1 (議案第1号～議案第9号) 平成28年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

---

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前10時00分開議]

○議長（佐藤昇市） 皆さん、おはようございます。

平成28年第2回那須烏山市議会3月定例会5日目、平成28年度予算総括質疑でございます。本日も議会傍聴に足を運んでいただきまして、大変ありがとうございます。ただいま出席している議員は18名全員です。定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

---

◎日程第1 （議案第1号～議案第9号）平成28年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計予算について

○議長（佐藤昇市） 日程第1 議案第1号 平成28年度那須烏山市一般会計予算についてから議案第9号 平成28年度那須烏山市水道事業会計予算についてまで、平成28年度当初予算案9件を一括して議題といたします。

本件については、去る3月2日の本会議において提案理由の説明が終了しております。直ちに質疑に入りますが、所管の委員会に関する事項は、委員会審査において質疑されるようお願いいたします。また、質疑、答弁は簡潔明瞭にされるようこの際、申し添えます。

それでは、これより質疑に入ります。

1 番相馬正典議員。

○1番（相馬正典） おはようございます。先にやらせていただきます。

いろいろありましたが6点に絞っていきます。まず、予算書17ページ、国庫支出金教育費国庫補助金、ことしの予算が650万円、昨年が9,700万円あって9,000万円の減になっています。減の内容についてお伺いしたいと思います。

続いて28ページ、総務費財産管理費とあります。予算規模は8,600万円程度なんですが、庁舎管理費3,137万5,000円とありますが、概要版の8ページに新規事業として庁舎整備比較検討調査費ということで同額が計上されています。同じ費用なのか伺います。それから、庁舎整備比較検討調査費というのはどういう事業なのかを伺います。

40ページ、民生費です。扶助費、生活保護扶助費2億5,400万円について、歳入の16ページに民生費国庫負担金生活保護負担金というものがあまして、これが1億9,000万円計上されています。不足分6,400万円について、財源はどこに計上しているのか教えていただきたいと思います。あわせて、生活保護は何人を想定しているのか伺いたいと思います。

43ページ、労働費労働諸費、これが730万円、昨年が50万円ぐらいだったんですね。

雇用対策事業費727万2,000円とあります。これの81ページに那須烏山市地域雇用創造協議会交付金720万円のことなのか、そのことについて伺います。また、その内容についても伺いたいと思います。

60ページです。教育費保健体育総務費、これが5,300万円ぐらいの規模なんですが、その中に国体開催整備事業費1,469万円とあります。これはどういう事業なのか伺います。あわせて、概要版のほうにアーチェリー大会というふうには書いてありました。これと同じものなのか。どんな整備をするのか教えていただきたいと思います。

79ページです。補助金ですね。保育士等就業補助金108万円とあり、概要版の7ページには、保育士等就業奨励金等305万5,000円とあります。どういう違いがあるものなのか、また、その同じなのであれば、またその事業の内容について伺いたいと思います。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） それでは、17ページの教育費国庫補助金につきまして9,000万円ほど減額になっているということでございますが、これは旧下江川中学校、新しく江川小学校になる施設でございますが、こちらの整備補助金が昨年は計上されておりました、それと、荒川小学校のグラウンド整備工事の補助金ということで、そちらを計上されていた分が今年度はないということで減額になっております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） それでは、庁舎管理費の関係で3,137万5,000円のうちの庁舎整備比較検討事業費ということで御質問がございました。こちらにつきましては、新庁舎の整備の関連では、先ほど御説明させていただきましたけれども、庁舎整備基金の計画的な積み立てによる財源の確保を努めるということにしておりますけれども、当面の間、既存の公共施設を活用した暫定的な運用を検討させていただくことになってございます。その中で今後、財政的な負担を極力抑制できますように、この庁舎暫定的運用の具体的なシミュレーションを行うための費用といたしまして、3,137万5,000円のうち350万円を調査費として計上させていただいたものでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） ただいまお尋ねの40ページの生活保護扶助費でございます。2億5,415万2,000円でございます。こちらのお尋ねでございますが、こちらのほうにつきましては、そちらの財源はどうなっているかということで16ページの民生国庫補助金で

すね。こちらに1億9,061万4,000円が歳入として計上になっております。これは国庫補助ということで歳出の4分の3が国庫負担金ということで、国のほうから義務負担でまいります。残り分4分の1は市の負担というルールになってございます。また、一部、住所がないような場合の生活保護部分、帰来地がない場合、特殊な例がありますが、こういったものについては県のほうからその分の2分の1は来る予定になっておりますが、基本的には4分の3が国庫として国から来る。4分の1が市負担で一般財源で対応するということになります。

それから、保護対象者の人数をどのくらい見積もっているかという御質問でございます。こちらにつきましては、来年度約170人と、それから新規を若干名ということで予算立てをしております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 今、質問ありました43ページの雇用対策事業費につきましては、商工観光課なので常任委員会の際に説明いたします。

○議長（佐藤昇市） 佐藤生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤新一） お尋ねの60ページの国体開催準備事業費1,469万円の内容です。こちらのほうは平成29年の6月に関東高校選手権大会のほうを国体の会場として内定を受けております大桶の運動公園で開催する準備のために、アーチェリーの防矢ネットの設置並びに的などを保管するための倉庫を新設するための経費として平成28年度計上させてもらったものでございます。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 御質問の79ページの保育士等就業奨励金の108万円でございますが、これにつきましては、保育士の確保が困難だということで、保育士の就業を目指すための市民等に対して奨励金を交付するものでございまして、新しい事業でございまして、概要書の7ページについては、その内訳でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 1番相馬正典議員。

○1番（相馬正典） 大体了解したんですが、生活保護費170人プラスアルファというふうにありました。できるだけそのアルファを当然厳格に審査されると思うんですが、社会的にいろいろな問題が出ていますので慎重に審査をしていただいて、本来であればできるだけ少なくしていただければいいなと思います。要望です。

それから、今、お答えいただいた児童福祉の補助金なんですが、保育士の就業補助金というのは、これ、内容についてちょっともう一度お願いしたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 保育士が足りないという現状がありまして、その保育士を確保するために保育士を目指す方に対して出す補助金でございまして、将来市内の保育施設または幼稚園施設に就業していただくということが目的でございまして、それに対して1カ月3万円を交付するというので、その方が保育学校を卒業して市内に戻ってきていただく。そうすれば、その奨励金は返さなくていいですよ。ただし、その目的外、卒業しなかったとか、他市、または違う場所で就労となったときには返していただく。そういう制度でございまして、栃木県内では私どもの作成段階の調査では小山市が、最近また、ほかの都市から紹介などがありまして、同じような制度をつくっているようなところもあるようでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 1番相馬正典議員。

○1番（相馬正典） 保育士1カ月3万円ということで行きますと、学生を対象にする奨学金であるというふうに理解してよろしいんですね。大体想定される人数というのは何人ぐらいなのかというのと、今、国会等でいろいろ騒いでいまして保育士さんが足りなくて保育園に入れないという方が、我が市においても、本当にうちは大丈夫だというような状況ではないというふうに思うんですよ。やはり正直私も何人かいろいろな話を聞きますと、なかなか入れなかったり、希望するところに入れなかったということもあります。慎重に拡充を図っていただきたいと思います。何人想定されているか伺いたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 3人を予定しておりまして、当面3年間を予定して要綱をつかっていきたいと考えております。よろしいでしょうか。

○議長（佐藤昇市） 2番小堀道和議員。

○2番（小堀道和） 座席順らしいので、心の準備はしていなかったんですけど、7項目お尋ねいたします。

まず、11ページの歳入の件で、1款5項の1目に入湯税、金額は少ないんですけども、昨年と比べて50万円収入が入ってくるということなんですけれども、今、このまちの各温泉はかなり経済的に苦しいというか、大変な状況にあるんですけども、去年と比べて50万円増えるという予算を見て、各施設の現状がどのようになっているのかということも含めて、本当にこれ入ってくるのかということをお尋ねしたいと思います。

2つ目ですけども、29ページ目の2款1項の10目目に、情報政策推進費というのがありまして、去年と比べて3,400万円ほど減っていますね。今、この役所もスリム化その他を当然ながら求められていますけれども、その中ではやはり情報関係を使って効率的にやるの

が一般的常識じゃないかなということを見ると、減るとというのがどういう理由なのかということと、あわせてこの市役所をスリムにするために情報をどういうふうにするかということも含めた先の見通しも含めて、どんなふうを考えているのかということもあわせて説明願えればと思います。

続いて3つ目、交通安全対策費関係で、全国交通安全週間に合わせて立哨指導を実施していますけれども、この立哨指導をしていただいているいろいろな層があります。その中に地元の自治会の人とかいろいろな人がいろいろな場所で立哨指導してもらっていますけれども、ここで保険に入っていない人がいるんですね。これを心配してくださる方がいるんですけれども、よくよく見たら職員も立っていますけれども、これも保険に引っかけられていないので、この辺、予算化すべきではないかなということの前から私のほうからもお願いしていたんですけれども、その辺の関係をこの予算も含めて、予算がつかなくてもできるのかも含めて、見解をお願いしたいなど。必要だったらちゃんとお金を取って保険に入るべきじゃないかなというふうな、そういう提案です。その説明をお願いします。

4番目、35ページ、3款1項の1目、ここに社会福祉総務費がありますけれども、5,500万円ほど多額です。内訳を見ると、国民健康保険の特別会計繰越金が6,100万円ほど増えていますけれども、これが主な原因なんですけれども、昨年と同じように3,100万円増えているんですね。この理由と見通し、それと今後の対応も含めてお伺いします。それと、これは想定内なのかどうかということもあわせて説明願います。

続いて、5番目、36ページですね、ここに3款1項の3、4目に、福祉関係の費用が出ていまして、これが福祉関係で増加する一方というふうに思っていたんですけれども、この中で3番、高齢者福祉費が3,500万円減っていますね、去年に比べて。あと4番目の保健福祉施設費、これも1,200万円ほど減っていますけれども、一般的に見ると、この福祉関係、高齢者関係も含めて増えるというふうな意識で見ていたんですけれども、逆に減っているののでこの辺はどういうことなのかということと、これからの見通しですね、これも含めて説明願います。

それと、次に6番目、65ページ、これはもう一般会計というか、職員の給与関係ですけれども、手当関係の詳細な説明の表がありますけれども、この中で勤勉手当1,100万円ほど増えていますね。これから人事評価も始まるということで質問もしましたけれども、勤勉手当って一般的に見ると、勤勉するのは当たり前で手当が出るのかというふうなこともあるんですけれども、どんな勤勉手当なのかということと、増えている理由ですね。この説明をお願いします。

最後の7番目ですけれども、87ページに教育費、ずらっと並んでいますけれども、87ペ

ージのこの表の下から2番目に、メノモニーの中学生のホームステイの交付金が予算化されています、28万円ほどですね。これ、予算化されているんですけども、行くほうだけで、迎え入れるほう予算化されていない。

これは以前にも前の教育長のときに質問して、呼びかけているんだけど来ないんですよって、そういう寂しい答えがあったんですけども、来る来ないは別にして、予算化されていないのはおかしいんじゃないかなということ考えたのと、きのうの一般質問でも言いましたけれども、国にはいろいろな施策があって、受け入れるホストファミリーという制度で家族で受け入れてくれるところがあったら受け入れてくださいという、それをすばらしく活用している自治体って結構あります。

だから、そういうことも含めて、来ないのでしょうがないから予算も立てられないなんていう、そういうあれではないので、もっと英語特区で皆さんやる気満々の人が増えていますから、この辺で受け入れるほうも予算化したらどうですかというのも含めて説明願いたい。

以上7点についてお願いいたします。

○議長（佐藤昇市） 小口税務課長。

○税務課長（小口久男） 今、御質問いただきました入湯税関係で50万円の増となった理由ということでございますが、今回、1温泉施設におきまして平成27年度の宿泊客が伸びているということで、平成28年度の当初予算におきましては、月約350人の宿泊客が増えるということで350人掛ける12カ月の宿泊客の入湯税が130円ですので50万円の増ということでございます。

現状ということですが、今申し上げましたように1施設におきまして宿泊客が毎年伸びている状況でございます。日帰りの方も若干であります、毎年二、三百人は増えている状況でございます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 福田秘書政策室長。

○秘書政策室長（福田光宏） 私のほうから情報政策推進費3,457万円の減について御説明させていただきます。

マイナンバー制度の交付金の減額が1,598万3,000円ございました。あと、情報系システムでパソコンの再リースをしたものですから、約1,000万円程度の減。それと基幹系システムの管理費の減が790万円程度ありますので、全部で3,457万円の減になりました。

今後の情報管理の考え方なんです、今、マイナンバー制度を導入しておりますので、情報の漏洩については徹底的にやっていきたいと思っております。あと、やはり今後の社会は情報

の時代なものですから、的確な機器を導入して進めていきたいなと思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 清水総務課長。

○総務課長（清水敏夫） 29ページに交通安全対策費を計上させていただきました。先ほどの各運動期間中の早朝の街頭指導を立哨していただいている方の保険加入の件につきましては、私どものほうでも、これまでボランティアでそういう手当をしていなかったということで、今後は各自治会、交通安全協会の会員の方は全員保険に入っております。それらの地域の方でボランティアで立っていただいている方については、名簿を出していただくような手続をとります。

それで、交通安全運動につきましては、那須烏山市、那須烏山警察署、那須烏山市交通安全協会、三者が主催でやっておりますので、これらの市の主催事業であるということで、町村会の加入しております保険、総合賠償保険の該当をさせていただきたい。そのためには、名簿等が必要になりますので、私のほうでそのような手続をさせていただきたいと思います。そのようなことで経費には入っておりませんが対応させていただきます。

それともう1点、65ページ、勤勉手当の件につきましては、これは期末手当と勤勉手当ということでございます。この議会初日に給与条例を改定させていただきました。4.1から4.2、0.1カ月分増給させていただきましたので、その増額分ということになりますので、よろしくをお願いします。（「総務課長、勤勉手当はどういう趣旨が勤勉手当」の声あり）

やはり通常ボーナスと言われるものですので、何て説明すればいいのかちょっと……困るところなんですけど、通常ベースのものということで御理解いただきたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 佐藤市民課長。

○市民課長（佐藤加代子） では、私のほうでは35ページの民生費の中で、国民健康保険特別会計の繰出金が増えているという御質問だったと思いますけれども、まず、国民健康保険の制度上、一度国とか県からの補助金とか負担金が入ってくるものを一般会計で受けて、それを繰り出すという形になっているんですが、国と国などの財政支援分というものの補充拡大事業ということで、常々平塚委員のほうから御質問されている、国のほうで支援を広げましたねというお話があったと思うんですけれども、その関係で国から入ってくるお金も増えているというのが1点、大きくは。

それで、一度受け入れて出すお金のほうも4分の2は国、4分の1は県、4分の1は市でもつんですけれども、その関係で総額が増えているということと、それから、国民健康保険につきましては、今回、保険税を上げさせていただきましたけれども、それでもまだ財政補填が足りないというところがありまして、一般会計からの繰出も若干増えているということが要因に

なっております。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） 36ページの高齢者福祉費でございます。一番下のほうに今年度と前年度の比で約2,500万円ほど落ちているが、この落ちた理由についてというお尋ねでございます。こちらの主だったものは、まず、養護老人ホーム、例えば市内であれば聖園ヨゼフ老人ホームがございますが、経済的なあるいは環境的に困ったお年寄りを養護するための老人ホームでございます。こういった養護老人ホームの入所措置者が若干現在、減っておりますので、その部分で約400万円ほど落としてございます。

それから、もう一つは、介護の予防プランをつくる部分ですね。これが来年度から総合事業に今度いろいろ新しく制度が始まります、介護保険で、総合事業ですね。そんな関係で事業を一般会計のほうから介護会計のほうに約1,000万円近くの事業を、内容は介護予防プランをつくる事業でございますが、こちらを一般会計から介護会計のほうに移行するという事で約1,000万円程度減っております。

もう一つは、介護会計の繰出金約500万円程度、給付関係、介護のほうで若干落としておりますので500万円ほど繰出金を落としてございます。主だったものはこういった要因でございます。あと、今後の見通しでございますが、やはり高齢者福祉費については基本的にはこの扶助費等は伸びる方向でおりますが、今回は移行部分ということで若干減っていることでございますので、御理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） それでは、87ページ、メノモニー市中学生派遣団交付金ということでございますが、本市につきましては、メノモニー市との姉妹都市ということで毎年派遣をさせていただいている費用が計上されています。ただ、向こうからの受け入れについては計上されていないのではないかとございまして、今のところ、まだ具体的なそのような計画がないということで当初予算には計上されておられません。もし、そういう事例が今後出てきた場合には補正予算等で対応させていただくということになるかと思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 2番小堀道和議員。

○2番（小堀道和） 一通り説明をしていただきました。ちょっと確認をさせてください。

入湯税の話は、このまちの施設にお客さんが増えているというのはとてもいい話だなと思うんですけども、今、滞納とかそういうことはないのかということまで説明いただきましたんですけども、差し支えなかったら、まずそれを1つ。

あと、情報関係は説明を受けましたが、マイナンバー制度も含めてやっぱり戦略を練る必要があるよなというのを説明を聞いていて思いましたので、それも合わせて検討していただきたいということで、これはオーケーです。

それと、交通安全関係、これは僕のほうも調べましたけど、金額のほうが本当に2万円、3万円もしないようなレベルなので、ぜひ早くやってほしいなということなのでこれをよろしくお願いしますということで、これは了解です。

それと、社会福祉関係の説明も受けましたけれども、これは想定内だということでもいいのかどうかの確認だけさせてほしいなと思います。

それと、福祉関係、これも説明受けましたけれども、ちょっと聖園ヨゼフの老人施設ですね、これは大変苦戦しているのも僕もフードバンクいろいろやっていて、シスターと話をしていてもそういう声が聞こえるんですけども、困っている人は増えている。でも、減らさなきゃいけないんだみたいなどころがあるので、やっぱり支援の手は、ずっと差し伸べる必要があるんじゃないかなということをおもいましたので、その辺も含めてお願いいたします。これは回答は結構です。

それと、勤勉手当、これは期末手当のことだということなので、人事評価制度でもどういふふうにするのということも合わせて質問しようと思ったんですけども、これはわかりましたので、わかってはいないんですけど、基本的なことはわかるので了解です。

あと、最後に中学生のメノモニーとの交流の話ですけども、これはやっぱり納得はしないというか、補正予算でもという話だったので、ぜひ私も情報を入れますので受け入れるほう、先ほど言ったようにホストファミリーというのをたくさん求めているんですね。だから、この辺できのうの矢板議員の質問もありましたけれども、やっぱり向こうから来てもらって、学校に入ってもらっただけでもすごく刺激になって、悪い影響はほとんどないので、ぜひそういうやつを進めたいので、これは一言最後にやりますというその答えを答弁願えればいいです。

以上お願いします。

○議長（佐藤昇市） 小口税務課長。

○税務課長（小口久男） 入湯税に関しまして、滞納についてはどうなっているかということですが、市におきまして温泉施設は3施設ございますが、その中で入湯税、ほかの税もそうなんですけど、一部施設におきまして滞納がある状況でございます。ただ、今、市の支払う債権がありまして、それを差し押さえ等をしていましてその税のほうに充当しているところですが、ただ、滞納額に充当してもその税額に追いつかない状況でございます。今、毎月催告書を送ったり、また、電話等で催告をしているところですが、なかなか全額納付までは至っていない状況でございます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 佐藤市民課長。

○市民課長（佐藤加代子） 国民健康保険の繰出金が想定内かというお話だったと思いますけれども、医療費の伸び、それから軽減世帯への拡充等を見込んだ数字になっておりますので、想定内ということになります。

○議長（佐藤昇市） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 海外高校生の受け入れということですが、やりますというふうにごここではなかなかすぐには申し上げられませんので、実施できるように検討していきたいということでもよろしく願いいたします。

○議長（佐藤昇市） 2番小堀道和議員。

○2番（小堀道和） 継続して、この後も私も個別に行きますので、質問はオーケーです。ありがとうございました。

○議長（佐藤昇市） 3番滝口貴史議員。

○3番（滝口貴史） それでは、予算質疑させていただきます。私の所管であります文教福祉常任委員会以外の質問を7点ほどさせていただきます。

まず1点ですが、ゴルフ場利用税交付金、今、ゴルフが結構人気ということではいっぱい入っていると思うんですが、200万円減額ということで、これのことを1点、どういった交付金で、考えられることをお願いいたします。

2点目ですが、予算書の26ページ、総務管理費の中に未来大使委嘱経費、きのう沼田議員が質問したことと関連すると思うんですが、未来大使の計画は具体的にどのような事業か、またこれは、何人ぐらい委嘱してどのような人を委嘱するのか。きのう、数名はお聞きしましたが、未来大使の条件、年齢制限、また他市町村ではふるさと大使などと呼んでいる場合もあります。私がちよっとイメージする未来大使というイメージでは、若者を委嘱するようなイメージがあるんですが、それについて質問いたします。

3点目ですが、先ほど相馬議員も質問しましたが、庁舎整備比較検討調査業務委託費について質問します。当初予算の中に調査管理費が3,137万5,000円が計上されております。新規事業費として庁舎整備比較検討調査業務委託費、先ほど350万円と言いましたが、具体的にこれはどのような調査をするのかお聞かせ願いたいと思います。

次に4点目、若者定住促進家賃補助事業費について質問をいたします。当初予算31ページ、定住促進対策費の中に2,549万3,000円が計上されています。この費用の中に、若者定住促進家賃補助事業費が計上されております。先ごろの2月23日開催の議員全員協議会でも説明いただきましたが、40歳以下の夫婦世帯のほか、40歳以下の単身世帯をも補助の対象

となっております。私が思うのに、一時的な定住ではなく、将来にわたって定住を希望するのであれば、40歳以下の夫婦世帯に限定したほうがよろしいのかなと思いますが、これに対してなぜ単身世帯をも対象にしたのか、答弁を求めます。

次に、当初予算48ページ、まちおこし推進費の中に5,555万4,000円計上されていますが、この中には昨年できなかったプロジェクションマッピング、また、本年度もタウンイルミネーションを継続するお金が入っているのでしょうか、お聞かせ願いたいと思います。

済みません、前に戻りまして44ページ、当初予算、農業振興費の中の中山かぼちゃブランド向上支援事業145万円ですか、具体的にはどのようなことを行うのかお聞かせ願いたいと思います。

続いて同じ項目の中でですが、農村地域づくり事業費182万6,000円、都市農村交流事業費について質問をいたします。これは今までの答弁から聞いていると、毎年人気の事業と聞いております。ただ、何となくそのときだけの一過性のものとなっているような気がするんですが、後追い調査をしているのかどうか。また、していないとしたら、やっぱり一過性のものになっていないかということなんですが、以上7点お聞きいたします。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） まず、第1点目のゴルフ場利用税の関係でございます。減額の要因はということでございますけれども、このゴルフ場利用税につきましては、県のほうで徴収しましたゴルフ場利用税のほうの7割が町村のほうに交付されるということでございます。

本市におきましては、現在、その対象となっておりますゴルフ場が6カ所でございますけれども、年々交付額が減ってきているということでございますが、大きな要因といたしましては、従前に比べて既存のゴルフ場が太陽光事業等に移行しているというところ、ゴルフ場の箇所数が減っているという部分と、または業者の中で高齢者あるいは18歳未満の利用者については、ゴルフ場利用税が非課税になっているというような要因もございます。そういう高齢化の影響もあろうかと思っておりますけれども、そういった要因もあって年々このゴルフ場利用税が減少傾向にあるのかなというふうに考えてございます。

それと、私どもの関連で庁舎整備比較検討調査費の御質問をいただきました。これについては、新しい庁舎ができるまでの当面の庁舎の暫定運用に関しまして、既存庁舎の必要な耐震化であるとか、大規模改修であるとか、そういった部分でどの程度の財政負担が必要かという具体的なシミュレーションを平成28年度に実施したいということで計上した予算でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 清水総務課長。

○総務課長（清水敏夫） 新年度予算総務管理費のほうに未来大使認定関係で、予算的にト

ータルで10万円ほどですが計上させていただきました。これらの関係につきましてですが、やはり本市の知名度アップと申しますか、広く市外で活躍している方等に本市の宣伝をしていただくこと。また、いろいろな情報を私どものほうに出していただいて、いわゆる宣伝をしていただくような広告塔になっていただくような方をお願いしたいというのがイメージになるかと思えます。人数等については昨日も2名ほど候補者が挙がりましたが、これから調査していくと、かなり市外またいろいろな面で活躍している方というのは非常に多いかと思えますので、人数等についても、そういうようなやっていただけるといふ方があれば、どんどん認定をしていきたいと思えます。

また、年齢制限、未来大使という若者という感じがしますが、年齢制限等についてはやはりそのような頑張ってやっていただいている方、協力していただける方であれば、設けなくてもいいのではないかな。今後、これらについては細かく要綱、要領等を定めていきますが、私の私見ということから言えば、年齢にかかわらずやってもいいのではないかなというふうに感じます。

あとはやはり若者の情報発信力、またそういうものというのはいすばらしいものがありますので、そういう方もやはりどんどん任命していくのがいいのではないかな。このような夢があふれるような、また希望がどんどんつながっていくような制度になっていけばいいなというふうに感じます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 31ページなんですけど、定住促進対策事業費の中に、若者定住促進家賃補助ということで720万円予算化されています。議員御指摘のとおり、この対象者としては、夫婦のいずれか一方が40歳以下、40歳以下の単身世帯が対象となっています。また、市内の方は夫婦のいずれか一方が40歳以下の世帯ということが対象者です。

どうして40歳以下の単身世帯も対象に入れたかということなんですけど、宇都宮の工業団地とか、また那須烏山市内の工場などにつきましても、宇都宮とか高根沢などの近隣市町から通っている若者が多いというような実態もあります。そういう方に対して、夫婦ではないんですが、那須烏山市のよさを、住んでいただいて知ってもらって、将来的には夫婦としてここに家を建ててもらいたいというような希望もありまして、40歳以下の単身世帯も該当するようになっていきます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 私のほうでは予算書48ページ、観光費の中の説明欄のまち

おこし推進費555万4,000円の中で、昨年予算にあったプロジェクションマッピングについてのまずは御説明申し上げますが、昨年9月補正においてプロジェクションマッピングからイルミネーションに変えたという経過もあり、そして、イルミネーションにつきましては、今まで南那須庁舎の南側と山あげ会館前でやっておりましたが、今、どちらも工事を計画しておりますので、今、検討ということで実施に向けてはその後調整し、9月の補正で対応したいと考えております。

この中のまちおこし推進費の中には、そのほかにいかんべ祭の事業費補助金ということで320万円、前年同様、そして、ふるさと観光資源活性化事業ということで月次の梵天祭に8万5,000円、それと山あげ祭の諸経費ですね、交通整理とかシャトルバス関係、レンタルトイレ等の経費が226万9,000円入っております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 私のほうからは、中山かぼちゃブランド向上支援事業と都市農村交流関係の事業についてお答えいたします。

まず1つは、中山かぼちゃブランド力向上支援事業ということでございますが、こちらにつきましては、広報用の中山かぼちゃブランド力のミニのぼりをつくったり、パンフレット、レシピなどを印刷することを予定しております。そのほかに栽培農家への支援ということで、新規に取り組む方、それから規模拡大する方にJAと連携いたしまして補助を出すということで、そちらのほうに50万円を予定しております。

さらに、平成27年まで県産農産物地産地消事業のほうで実施しておりました学校給食への材料提供の中から、中山かぼちゃペーストの学校給食への提供を50万円ほど計上してございます。

それからもう一つでございますが、都市農村交流のほうで、こちらは主に豊島区との交流ということで、いなか川遊びというのを毎年8月に開催しております。こちらについて、平成28年度も予定しております。大部分がこの事業を荒川南部土地改良区のほうに委託しておりますので、その委託費ということで140万円ほど計上しております。

また、こちらから豊島区へ行くバスツアーと申しますか、そちらのほうにつきまして計上しております。

また、その追跡調査ということでございますが、特に金額的なそういうものについてはしておりませんが、出席した方のアンケートを実施しております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 3番滝口貴史議員。

○3番（滝口貴史） おおむね了承させていただきました。まず、ゴルフ場については6カ所というのは、もうおやめになったゴルフ場もあるということから、ほかのものに転用したというゴルフ場も含まれた6カ所か、もう1回確認させていただきたい。

それと、未来大使委嘱について了解しました。僕もこれはすばらしい事業だと思います。何人でも上限はつくらず那須烏山市をPRしていただける方、宣伝マンとしてやっていただけるのであれば、市出身でなくても那須烏山市に協力的な人、そういう人も選んでいただける基準を要望したいと思います。

庁舎整備管理費については了解いたしました。

次に、若者定住家賃補助事業ですが、先ほど計算したら全部が夫婦世帯の場合は約40件ですよね。単身世帯だと1年間補助して85件ということだと思うんですが、やはり定住促進というのはすごくこれからこの市にとっては大事なことになっております。できれば、本当にどちらかに絞ってもっと増額をして、どちらかを1万5,000円、7,000円というのではなくて、どちらかを絞って増額して補助していただけるようにと私なんかは思うんですが、そのことについてお願いいたします。

プロジェクションマッピング、タウンイルミネーション、まちおこし推進については了解いたしました。

中山かぼちゃについてですが、現在、生産農家が減ってきています。やはり栽培農家への支援というのがこれから一番大事になると思います。また、小学校、中学校の給食でペーストにして出している中山かぼちゃは、子供たちに全国でここにしかないという心を植えつけていただいて、そういった教育と支援、中山かぼちゃを子供のうちから、このものだという意識を植えつけるようなこともしていただきたいと存じます。

最後の農村地域づくり事業、豊島区との交流事業については了解いたしました。再質問何点かお願いいたします。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） それでは、市内のゴルフ場の箇所数でございますけれども、6カ所というのは現在このゴルフ場利用税の対象となっているゴルフ場ということでございまして、市内で単独のゴルフ場が3カ所、それとほかの市町村にまたがっているゴルフ場で、そのコースの一部が本市にかかっているゴルフ場が3カ所で計6カ所ということでございます。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 若者向けの住宅の家賃補助なんですけど、これまで計画を練る段階で先進地の事例なども参考にしまして、夫婦世帯上限1万5,000円、若者7,000円というようなことに決めました。先進地の事例としては、もっと安い1万円とか

というようなところも多いものですから、茂木町を主に参考にしたわけなんですけど、茂木町では1万5,000円と7,000円というふうになっておりますので、一応このまま実施したいと考えております。

○議長（佐藤昇市） 3番滝口貴史議員。

○3番（滝口貴史） あと、最後に1点だけ、定住促進の件なんですけど、家賃はこれは3年間ということで、例えば可能性としては家賃補助のある3年間だけ住んで、ぽっと出られる可能性もありますよね。ですから、その対策についてはいかがでしょうか。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 3年というような補助の期間になってはいますが、補助金の交付を受け付ける段階で3年以上継続して定住する意思がある者というような条件もつけてあります。また、3年住まなかった場合は補助金の交付の取り消しというようなことで、そういう規定もありますので、それによって3年以上は住んでいただけると確信しております。

○3番（滝口貴史） 了解です。

○議長（佐藤昇市） ここで休憩します。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時10分

○議長（佐藤昇市） 休憩前に引き続き再開します。

4番矢板清枝議員。

○4番（矢板清枝） 私のほうからは、まず29ページ、2款の総務費8の企画費ということで、このイメージキャラクター維持管理費ということで106万1,000円という金額が計上されていますけれども、これは新しく作り直すのか、もしくはクリーニングするか、どういった内容なのかということをお教えいただければと思います。

それから、49ページの道路橋梁費、この内容の中で75ページの建設工事一覧表というところを見ますと、工事事業の内容が書かれている一番下のところに、交通安全施設整備工事というのはどういう内容を示すのかということをお教えいただければと思います。

それから、53ページ、9款の消防費災害対策費の中に予算概要に適用するみたいなんですけれども、その防災スペシャリスト養成というのが概要の中に入っているんですけども、この養成する対象人数と補助の内容ということをお教えいただきたいと思っております。

それから、80ページ、犬・猫不妊手術補助金ということで18万円が計上されていますけれども、これは何頭ぐらいで1匹幾らを考えているのかということをお教えいただければと思います。

以上4点です。

○議長（佐藤昇市） 福田秘書政策室長。

○秘書政策室長（福田光宏） イメージキャラクターの維持管理費106万1,000円について御説明させていただきます。今までの3つのやまどん、ここなす姫、からすまるの維持管理費でございます。昨年はゆるキャラグランプリに出まして総合293位だったんですが、平成28年度もゆるキャラにチャレンジしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 74ページの土木費の中の交通安全施設整備工事なんですが、これは主に区画線と言って白線ですね、道路の端にある白線がかなり消えているものだから、それを新たに作る工事が主な工事です。そのほかガードレールの設置などもあります。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 清水総務課長。

○総務課長（清水敏夫） 災害対策費の防災スペシャリスト養成については、これは国が行います災害時にしっかりと対応できる職員の養成を目指して、いろいろなカリキュラムが組まれております。これらについて予算的にはほとんど東京で1泊2日で開催されますので、それらの旅費、宿泊費等を計上させていただいております。

なお、これまで4名の職員がこの研修を受講しております。やはり初級者向けから上級者向け、また、いろいろなコースが近年できておりますので、定期的に派遣をさせて危機管理に迅速に的確に対応できる人材の育成を進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 薄井環境課長。

○環境課長（薄井時夫） 最後の質問、ちょっと聞き取れなかったんですが、41ページの関係だったでしょうか。（「80ページの犬・猫不妊治療。何頭で幾らを考えているか」の声あり）今回、狂犬病予防事業費の中で犬と猫の不妊手術費用、新規で計上させていただきました。犬が20頭、猫が20頭、犬が1頭5,000円、猫が1頭4,000円ということで計上させていただきました。よろしく申し上げます。

○議長（佐藤昇市） 4番矢板清枝議員。

○4番（矢板清枝） 大体わかったんですけども、再質問で、ゆるキャラの出場するお金ということで、3体今いますけど、予備のゆるキャラがあるかということをお聞きしたいと思います。

それから、防災スペシャリストの養成なんですけれども、職員対象ということで、旅費だけ

の補助ということで聞いたんですが、今後、職員だけではなく、市民の方々も防災の勉強をしたい、スペシャリストになりたいという、そういうことがありましたら、市のほうではどういうふうに進めていくかという、その考えを教えてくださいと思います。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 福田秘書政策室長。

○秘書政策室長（福田光宏） ゆるキャラの代わりはあるかということなんですが、今のゆるキャラしかございませんので、修理をしながら使っていきます。それと、ゆるキャラの平成27年度の実績なんですが、職員等が参加しまして29カ所に行っております。あと業務を委託している関係で11カ所行っております。2月の段階で40回の参加をしております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 清水総務課長。

○総務課長（清水敏夫） ただいま矢板議員の要望は、いわゆる防災士の養成に関する件かと思っております。これらにつきましては、ほかの市ですと、市全体で養成講習会を開催しているところもございますが、私どものほうではそれぞれ各自対応というようなことでお願いをしております。

しかしながら、この防災士の認定に関しては要件等も緩和されまして、過去に消防とか消防署とか消防団とかで資格要件があるんですが、経験年数があれば、受講料というか申請手数料だけで認定されるような制度にも改正になっております。それを受けまして、現在、本市における防災士は約20名おります。

ですので、この方たちを中心に今、市の消防防災会というのも組織されておまして、日々研さんに努めております。ですので、そういうところで防災士の資格を持っている方について、これから地域に入ってもしっかりと防災のリーダーになってもらいたい。そのようなことで、研修会も継続して開催しておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○4番（矢板清枝） 了解しました。

○議長（佐藤昇市） 5番望月千登勢議員。

○5番（望月千登勢） まず、38ページ、認定こども園施設整備支援事業費についてお伺いいたします。こちらの対象となる園は、マリア幼稚園ということでお聞きしております。全体の認定するために係る費用のうちのどのぐらいを補助するような形になっているのか。さらには、今後、このような認定こども園化するスケジュールがもしありましたら、お知らせください。

さらには、今後、市内のつくし幼稚園の認定こども園化する場合の概算とかということでの

検討をされているかどうか、もし費用等がわかりましたら教えていただきたいと思います。

それから、ファミリーサポートセンター事業費のうち、お聞きしましたところ、講師謝金というものが発生しているということでした。この講師謝金について、どのような講師、テーマでの展開をしようとしているのか教えていただきたいと思います。

次に、サタデースクール、内訳を教えていただきたいと思います。その中でも人件費がどのくらいで、それをどの方たちにお支払いをしているのか。さらには、時給が発生しているようでしたら、その時給の金額も教えてください。

次に、小中学生海外派遣事業費、同じ54ページですが、そちらに関する市の1人に充てる補助の費用と、参加費の費用を教えていただきたいと思います。こちらに関しましては教育の機会均等から考えると、その派遣される人数のみの対応でよろしいのかどうかというのが今回ちょっと気になっておりますので、その辺も含めてお聞きしていきたいと思っています。

さらに、予算概要のほうでお示ししていただいた23ページになります。歳出の前年度比較に比較表をつくっていただいております。その比較の増減率を見ますとほとんどマイナスの形をとっているのです、予算削減に向けて皆様の努力がうかがわれるのですが、土木費が21%減という大きさが非常に気になるところです。

なぜならば、私のほうではユニバーサルデザイン化する歩道とかの道路整備なども訴えているのですが、そちらの予算等も含めると、この減少傾向がずっと続くのであれば非常に不安に感じます。その傾向として、歩道等の整備に関して努力されていかれるつもりなのかということもちょっとお聞きしたいなと思っております。

これで見ますと、10番の教育費1.5%の増です。こちら増とは言うものの教育費の内容を見ますと、ほとんど実は社会教育費の割合の中の保健体育関係の設備が上がっているものですから、それで増加になっているということで、人づくりに対しての予算が減少傾向が大きいと感じられます。この点につきまして、人づくり、まちづくりという観点から増加しているが見えますが、減少している現象は、ちょっと流れとしてまずいのではないかというふうな感じがしますので、その点の御意見もお聞かせください。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 私の関連する質問の1つに認定こども園の話がございましたが、どのぐらいの費用を負担するのか、どのぐらいのスケジュールでという御質問だったかと思っております。現在、マリア幼稚園が新制度を受けない幼稚園でございまして、平成28年度中に整備をして、平成29年度から認定こども園化をしていくというように伺っております。

どのぐらいの費用ということでございますが、まだ概算でしか出ていないものですから、ただ、補助事業ですので概算設計で費用を出していますので、今後どのように費用がなってくる

かというのはまだ精査を見ないとわからない部分でもありますが、予算上の話で申し上げますと、合計で申し上げますが整備費全体で1,835万円ほど事業費が見られておりまして、そのうち補助事業がございまして、国、県でもつことになっております。

済みません、もう少し説明しますと、1,835万円なんですが、この費用を国と市と事業者がもつというスタイルになっておりまして、そのうち国と市で1,376万2,000円というのが予算に載っているわけです。

その割合でございまして、これについては施設によって厚生労働省の補助金と文部科学省の補助金がありますが、国が2分の1、市4分の1、事業所4分の1という計算で、今回の予算額は国、市の分1,376万2,000円を計上したものでございます。なお、今後のスケジュールは先ほど申し上げましたが、費用等についても先ほどのとおりでございます。

もう1点、ファミリーサポートセンターの件でございまして、講師謝金が主ですよということで予算計上させてもらったんですが、今、子育て支援事業というのは県が行う研修を必須とするものがあるんですけども、ただし、ファミリーサポートセンターにつきましては、そのような義務化がないものですから、努力義務でございまして、当初もう少しグレードを上げた研修を予定していたんですけど、現在は保育士または保健師、そういったものでよろしいのかなというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） それでは、私のほうから2点ほどお答え申し上げます。まず、サタデースクールでございまして、サタデースクールにつきましては、講師の方、宇都宮大学の学生の方をお願いをしております。1日当たり6,000円ということでお願いしてございます。そちらの金額が256万円ほど予定しております。

そのほか、賃金といたしましては、市職員のスクールバスを運転している方がいらっしゃいます。そちらのほうで86万2,400円ほどを見ております。それと、スクールバスの委託もしております。市職員で賄えない分、一般業者にスクールバスの委託をしておりますが、そちらにつきましては、170万9,000円ほど予算要求しております。

そのほかにつきましては、燃料費とか消耗品等、あと保険料ですね、学生さんであったり、宇都宮大学の教授だったり、そういった方の保険料ということで、その他支払いをしております。

続きまして、中学生の海外派遣でございまして、1人当たり個人負担は10万円ということで計上させていただいております。約2分の1ということで計上させていただいております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 予算の概要書のほうの23ページですね。ここに目的別対前年度比較表が載っています。土木費が前年度に比べまして21.3%の減になっているということなんですが、御指摘のとおり、これから道路についても高齢者とか、また、身障者の方とか、子供たちの通学路などのユニバーサルデザインを考慮した歩道とか、そういうのを整備しなければならないわけなんですが、当初の予算ということで補正とかでなるべく要望にこたえられるように対応したいと思います。

また、今後のこのような予算が土木について続くのかというようなことなんですが、この主な中身を見ますと、新規の道路の開設がかなりの割合を占めています。新規の道路については、今後もほかの事業などもありますので、全体の予算の中で見ますと、このような傾向が続くのかなというふうに予想しています。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 佐藤生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤新一） 教育費予算の増額についてですが、今回、平成28年度中に武道館のほうの建設予算3億4,000万円が計上されておりますので、一番大きな予算増額の原因かと思われまます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 5番望月千登勢議員。

○5番（望月千登勢） ありがとうございます。特にお聞きしたいのが、サタデースクールに関して、今後、成人の地域の方への講師参加枠をされていかれるおつもりがあるかどうかということをお聞きしたいのと、さらには、海外派遣についてですが、2分の1対応というあの補助制度に対して、改善をしたほうがよろしいのではないかというふうに感じます。教育の機会均等を考えますと、10万円でも高いという形での対応をもう少し考慮したほうがいいのではないかと思います。奨学金の基金を利用するか、何かしらの手立てをとりながら10万円以下で行ける形の枠をつくっていただきたいなというふうに思いますので、その検討がされるかどうかお聞きしたいと思います。

以上お願いいたします。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） それでは、サタデースクールのほうの一般講師というようなことですが、実は宇都宮大学のほうから現在約30名ほどの講師の皆さんに来ていただいております。その講師といっても、皆さん生徒というか学生でございまして、サタデースクールに来て授業をやるということで、将来に向けた先生になるための勉強にもなるというよ

うなことで、できればそちらのほうを続けてはいきたいと思っています。

ただ、そちらのほう年々やはりほかの市町村でも講師関係が少なくなっているというように実情もございまして、そちらのほう少なくなってくれば、もちろん一般の講師の方にもお願いするというようなことになるかと思いますが、現在のところ、できるだけ宇都宮大学の講師ということで検討させていただいております。

続きまして、海外派遣のお金について、10万円、ちょっと高いんじゃないかというようなことですが、全体の事業費が実は457万8,000円ほどかかっているんですね。あくまでも個人に係る経費が約20万円ほど、1人の生徒が行って帰ってくるのに個人負担として20万円ほどかかっておりまして、市としましてはその半分ということで10万円ほど出しています。なかなか高額な補助を出しているということで、これをちょっと下げるといことは今のところ考えてはいない状況です。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 5番望月千登勢議員。

○5番（望月千登勢） 大変厳しい状況だという中でさらにお願いするということが大変恐縮なんですけれども、そうしますと、行くということが大変難しいとなれば、やはり小堀議員もおっしゃっているように来てもらうという事業をやはり発生させたほうがいいんじゃないかというふうに強く感じます。

子供たち誰もがその環境にいられるというふうなものをつくり出す新しい事業も考えていただくというのは、この数名しか行けないという状況をつくっているというのがあまりよくないと。ならば、こちらにホームステイしていただいて、こちらでその場をつくるという、やはりその流れをぜひ考慮していただきたいなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○議長（佐藤昇市） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 海外派遣につきましては、教育の機会均等という話もございましたけれども、なかなかちょっと難しい問題で、例えば生存権のような中で、文化的最低限度の生活を営む権利を有するというふうな部分から考えると、教育の機会均等というのは海外派遣まで機会均等でいいのかという部分も当然考えられます。

やはり義務教育、そして高校教育も現在は収入制限はございますけれども、ほぼ無償になっているというような状況もありますので、ちょっとそのレベルの段階で海外派遣を例えば2万円にしろ3万円にしろということについては、ここでちょっとできますという話はできかねる。ただ、他市町の状況等を調査しながら対応はまた考えてまいりたいというふうに考えておりますので、申しわけありませんが、その辺のところ御容赦いただければと思います。よろしくお願ひします。

来ていただくというほうも、先ほど小堀議員のほうにお話ししたとおりで、前向きにまた検討を重ねていきたいと思えます。

○議長（佐藤昇市） 6番田島信二議員。

○6番（田島信二） 4点ほど伺います。

予算概要のほうですが、8ページ、農政課のカワウ駆除ですね。100万円になっていますが、これ、1羽につき幾らぐらい補助を出すのか伺います。

19ページ、七合小学校教育振興費373万5,000円の内訳ですね。

予算書のほうから50ページ、道路維持費、道路新設改良費、これがどっちも減額になっていますが、なぜ減額したのか伺います。

74ページ、谷浅見中原線道路整備工事の内容ですね、どの辺をやるのか、その4点です。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 水産業振興費のうちのカワウ駆除促進強化事業補助ということでお答えします。平成28年度から新たに調整の結果、補助を出すということで計上させていただきました。内容につきましては、1羽につき市からは1,000円の上乗せ補助をすることで、既に漁協さんのほうで実施している補助がありまして、そちらが2,000円と聞いております。そこの2,000円支払うところに市のほうから1,000円上乗せして、最終的には3,000円で猟友会の方に行くことになります。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） 私のほうから予算概要の19ページの七合小学校教育振興費の373万5,000円の内訳ということでございますので、そちらについてお答えをさせていただきます。

これにつきましては、教育活動に必要な消耗品とか備品とか、そういったものになるかと思いますが、一応大きなものが校外学習事業等がございます。そういったときのバスの費用として184万円ほど、そちらが計上されております。

また、平成28年度からでございますが、要保護準要保護及び特別支援関係の援助費ですね、そちらにつきまして、前は学校教育費のほうに組んで、それを学校に流していたという状況だったんですが、今度は学校、直接に組ませていただいたということで、そちらの金額、七合小学校ですと95万8,000円ほど、そちらのほうに計上されてございます。

そのほかについては、消耗品または備品等でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 50ページの道路維持費とあと道路新設改良費ですね、道路維持費が1,670万円、新設改良費が1億2,240万円減額になっているというのはどうしてかという理由なんです、道路整備については、これからも整備する箇所はたくさんあるわけです。その中で市の全体の予算の中で道路に占める割合が減った。1年間に今まで200メートルできたところを100メートルというような、そのように年月をかけて整備していかなければならないというような、そのようなことで減っているわけです。

また、もう一つの谷浅見中原線の工事の内容についてなんです、これは七合小学校の前のところですね、現在46メートル、平成27年度も工事をやっています。ほぼ形になってきましたので、舗装工事をやる予定にしています。平成28年度で終わる予定です。

○議長（佐藤昇市） 6番田島信二議員。

○6番（田島信二） もう1回お聞きします。そうすると、道路維持費が一番要望が多いというのに一番削られているんじゃないですか、これ。これ矛盾しているんじゃないですか。要望が一番多いんですって、道路だの何だの。それで予算は一番減らしてある。1億2,200万円、どうでしょう。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） そうですね。市政懇談会などでも要望が多いということですが、道路につきましては、金額的に1カ所当たりかなりの金額になってしまうということで、財政に占める割合も高くなるものですから、ほかのこれからやらなければならないところもやらないというのは道路以外ですね、そういうのを考慮しますと、これはこれから新設ではなく道路の維持のほうに力を入れていかなければならないというようなことも言えると思います。

以上です。

○6番（田島信二） 了解。

○議長（佐藤昇市） 7番川俣純子議員。

○7番（川俣純子） 私は7つほど質問します。まず最初に概要のほうに出ているデマンド交通の管理費というのがあります。これは昨年からかなり減っているんですけど、市営バスも廃止になり、いろいろなことで活用が多くなると思うんですが、ただ、もしかすると設備投資費の分が減っているのか。ちょっとその辺を教えてください。

あとは予算書から行きます。予算書の23ページ、諸収入の中の民生費受託事業費の中に病児保育受託事業収入となっています。これは大体何名ぐらいとか、何日ぐらいで幾らというのが38万円を計算しているのか。

次が38ページ、民生費児童福祉総務費、これが放課後児童健全育成事業なのですが、これが結構上がっています。人件費で上がっているのか、運営費なのか、保護者の負担費も

1,620万円ぐらいは見込んでいるんですね。だから、結構なお金が入ってくるのに、また、増額しているというのは何か事業を拡大するのか、どうなのか。

次が54ページの教育費事務局費メンタルヘルス事業費から毎年聞いているんですけど、去年はたしかいなかったんですね、その臨床心理師が。今回、新任で入っていると思うんですが、ということは去年1年間結局いなかったのかなと思うんですが、それをちょっと教えてください。

次が65ページ、職員手当の中で時間外が5,907万円かな、上がっているんですが、これは選挙があつたりして時間外が増えるということでしょうか。どういふのでここまで上がっているのか。

次が79ページの民生費社会福祉費の中の障害児のデイサービス事業のくれよんクラブですね、これはかなり下がっているのは、建物も場所を移動したりとかしたときのために費用がかかっていたので今回は下がったのか。

最後に90ページ、負担金の最後ですね。総額はかなり1億7,500万円ぐらい負担金、補助金総額でもらってことは増えています。来年はこんなにももらえないかもしれないと思うと、負担金で経営しているまちなので、どうなのでしょう。結構地方創生でたくさん出ているのか。見ていると、保育とか農業にすごい負担が来ているのは国の今の対策として来ているのか。もしも、これが継続して来るのかで大分違うと思うので、ちょっとその辺は見込みはどうなっているのか教えてください。

○議長（佐藤昇市） 福田秘書政策室長。

○秘書政策室長（福田光宏） デマンドの運行管理費が425万8,000円減になっているという御質問だと思います。平成27年度までは委託料を全部払っております。デマンドの運行の料金の考え方なんです、300円、タクシー会社に入っております。ですので、委託料からタクシー会社に入っている運賃を引いております。平成28年度はこの425万8,000円は一応3社分の運賃収入分を考えております。ですので、運賃収入分を引いた委託料になっていますので減額というふうになっております。

もう1回言います。平成27年度は1台当たり2,400円掛ける9便、あと243日、6台ということで3,100万円ぐらいお金を払ってございました。デマンドの利用者300円支払うと思うんですが、それは直接タクシー会社のほうに支払っております。委託料としては先ほど言った金額の日数分と1カ月に入った運賃収入を引いて払っております。

ですので、平成28年度は先ほど言ったように、業者に委託している分、運賃収入分を引いておりますので、昨年度と同じです。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 予算書23ページの病児保育受託事業68万8,000円のこととよろしいでしょうか。それにつきましては、新年度以降、那須南病院において病児保育を開始したいと今進めているわけですが、構成町からの受託収入ということで設定させていただいた金額です。これについては、実際のニーズがどのくらいあるかわかりませんので、補助事業に合わせた人数で設定させてもらった金額でございますが、基本額が40万3,000円、残りが利用者負担分ということで50人程度見込んでいるんですけども、それについて概数でございます。

もう1点、放課後児童クラブの事業費の増でございますが、前年度の当初におきましての比較でございますので、前年度途中というか、烏山学童が第1学童増えたものですから、今年度の新年度平成28年度当初にはその学童も入れていますので、事業費が多くなっております。

あと、決算と予算と違いますので、まだ精算する段階ではありませんので、事業費全部を載せていたのでちょっと膨らんでいるというふうに理解していただければと思います。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） 私のほうからメンタルヘルス事業等について説明をさせていただきます。54ページを開いていただきたいと思いますが、その中に下から4行目にメンタルヘルス事業費ということで82万5,000円計上してありますが、これにつきましては、実は事業費等の変更はございません。2人ほど心の相談ということで、これはお願いしている人がいまして、そちらの謝金等になります。

心理士等につきましては、55ページの上から2行目になりますが、特別支援教育等推進事業費というのがございますけれども、ここで心理士ということで平成27年度は嘱託職員を1名、すこやか推進室という市のほうで雇ってございましたけれども、平成28年度につきましては、正式に職員となりましたのでそちらのほうからは減額されているという状況でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 清水総務課長。

○総務課長（清水敏夫） 65ページ、一般職の職員手当の内訳、時間外の増でございますが、川俣議員お見込みのとおりでございます。選挙以外のものについては職場の環境改善、また前にも説明しましたが、対前年で時間外等は減少していますので、引き続き職員が家庭も大事にして、また仕事に意気込みを持ってやっていけるような職場の環境改善に努めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） 私のほうからは79ページの上段のほうにございます障害児デイサービス事業の補助金が減額になっているということでございます。こちらでございますが、この内容につきましては、くれよんクラブということで正式名称につきましては、指定障害児通所支援事業ということで、いわゆる児童発達支援事業でございます。

こちらのほうがことしは64万1,000円、昨年度が239万8,000円ということで170万円何がしが減っているということでございますが、こちらの理由につきましては、前年度の繰越金があったということ、それから、収入ということで障害児施設通所給付費、これは国、県のほうから来る給付費でございます。こちらのほうが定員のほうが10人でございますが、登録者のほうが53人ということで大変増えてございます。そんな関係で収入等が増えている傾向がございますので、市のほうからの負担がこれだけなくても、今回はやっつけられるということで、中身を精査しまして減額をしたということでございます。

こちらにつきましては、本市と那珂川町のほうでもこれまでのこのくれよんクラブの設置計画からして1市1町でこういった負担金を負担しているわけでございますが、1市1町とも今回は財源があるということで負担金を減らしたということでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） それでは予算書の90ページの負担金、補助金、交付金のほうの集計表がございまして、この内訳につきましては、この前の76ページからのそれぞれ負担金、補助金、交付金として市のほうで支出をしているものの集計ということでございます。

その中で大きく負担金、補助金のほうが伸びているということでございますが、まず、負担金につきましては、大きな要因といたしましては、広域行政事務組合の負担金が3,300万円ほど対前年度増となっておりますので、そういった要因がございます。

補助金につきましては、市の単独補助金のほかに国、県の補助事業に関係するものもこちらの補助金に含まれておりますけれども、大きい要因といたしましては82ページの下のほうになってまいりますけれども、畜産担い手育成総合整備事業費補助金、こちらのほうが今年度9,600万円ほどございますが、対前年度と比較しますと6,600万円ほど増となっております。そういった国、県の補助事業等の関連で増えているものもございまして、御理解いただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 7番川俣純子議員。

○7番（川俣純子） 負担金のことは了解しました。上手に運営して行って、かなり農家を

守るために国が出しているのかなと思っているので、上手に使ってあげれば良いなと思っています。

デマンドもわかりました。

諸収入のほうの病児保育の中の、できたら何人ぐらいを見込んでいるのか、延べで構いませんけど、何人ぐらいを見込んでいるかのお答えをいただかなかったと思うので、ちょっとそれを見越してきつと計算したと思うので。

それと、放課後児童クラブのほうは早目にできたら烏山小学校に入れば楽になるのか。そういうのはいかがなのか。校庭と体育館は開放するとこの間言われたのですが、早く移管できるようにすれば経費削減にもなるのかなと思うので、それもちょっと考えていただきたいと思うことと。

くれよんクラブのことですね。くれよんクラブは53名もいて、あの場所では手狭では逆じゃないのか。それとも、毎日53名来るわけではないので大丈夫なのか。その辺をうまく計らっているのか、ちょっともう一度答えていただきたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） くれよんクラブの御質問でございますが、結論から申し上げますればちょっと手狭ということは拭えない事実でございます。定員が10名でございます、今言った登録者が53名でございますので、こういった人たちが全員来るというわけではございませんので、その日によって来ない子供さんもいらっしゃいますので、全員が来るというわけではございませんが、正直言って施設も古いですし手狭ということですので、いい場所があれば早目に見つけたいということで、私どもの市と那珂川町と場所探し等も含めてやっている状況でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 病児保育の先ほどの説明の中で漏れてしまったものがありまして、その御指摘だと思います。那須烏山市と那珂川町で両町で負担していくということでございまして、先ほど50名と申し上げたのは那珂川町でニーズがそれだけあるだろうというふうに申し上げたわけございまして、今回、この予算をはじく段階では732名ほど見ておりますが、これは補助とかそういったものに合わせた数字でございまして、先ほど50名といったのは那珂川町、うちのほうでは100名ぐらいが大体かなと思っていますが、732名うちのほうで算出しまして、那須烏山市がその7割、那珂川町がその3割ということになっております。

金額で申し上げますと、先ほどの予算書に出ている68万幾らは、基本分40万

3,000円にプラス加算分という形です。本市にあっても同じように基本額が40万3,000円、残り利用者分という形になるわけでございます。人数については732名を見込んでおります。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 7番川俣純子議員。

○7番（川俣純子） 放課後児童クラブなんかは早目に対応していただけるとありがたいことと、あと場所探し、やはり小学校、中学校の教室はかなりいろいろなところが空いているので、何か対策ができるとしたらそういうところかなと思うので、それにまるっきり空いている学校もいっぱいありますよね。そういうところの利用をすればもうちょっといいものができるような気はするので、対策を考えてほしいのと。

病中病後も那須南病院でやるということは、改めて雇うような人はいるんでしょうか、逆に言うと。人数732名延べで来るとなったら、かなり大変なことかなと思うので、新しく人員を入れるとか、そういうのは考えているのでしょうか。いかがでしょうか。

○議長（佐藤昇市） 齋藤こども課長。

○こども課長（齋藤 進） 放課後児童については、議員御指摘のとおりでよろしいでしょうか。

病児病後児につきまして、実際のニーズはそんなにいないというふうに考えておきまして、数年前に子ども・子育て支援事業の中でニーズ調査をしたところによりますと、うちのほうが平成28年度だと109名程度だったと思います。那珂川町が50名程度となっております。ただ、実際にこれだけの人数をさらにまた使うかというのは、また問題があるんですけども、補助事業を予算化しておかないといけない部分もありまして、延べでその人数を掛けていけば定員3名を一応予定しているんですけども、そんなのでやったわけで実際にはそのようにいないのかなと思っています。

これはちょっと予算規模が大きくなっている部分がありまして、補助事業に合わせてやっておりますので、実際には今言ったように年間150人の中でどれだけ利用があるのかなというふうに思っています。ちょっとそこは読みとけない部分がありますので御了解いただきたいと思えます。

今回、那須南病院に院内保育という機能がありまして、看護師については常勤されている方のシフトでできると。保育士についてもいるんですけども、今、現在いるんですけども、要件を満たすためには若干、私の聞いている範囲では1名程度増やして病児に当たるというふうに伺っていますが、ちょっとその辺はまだこれも新しい事業でございますので詰めていきたいと思えますが、そのようなイメージで私のほうでは聞いております。

以上でよろしいでしょうか。

○議長（佐藤昇市） ここで休憩いたします。

休憩 午後 0時03分

再開 午後 1時00分

○議長（佐藤昇市） 休憩前に引き続き再開します。

8番 渋井由放議員。

○8番（渋井由放） それでは、まず建設工事一覧から74ページの南那須中学校の体育館の改修費5,270万円と、これこういうふうを読むのかどうか指標碑移動工事ですね、まず、指標碑というの自体もわからないので、その辺も教えていただくと、どのような改修をするのか教えていただきたいと思います。

あと大金駅前観光交流館の案内看板ですか、65万9,000円、これはどのような場所に設置して、どのような内容なのか教えていただきたいと思います。

あと補助金、負担金一覧から、82ページの上から9番目、新規就農促進事業費補助金100万円、これはどのような内容か、87ページ下から6番目、スーパーティーチャー育成事業交付金、どんな事業で、誰に交付するのか。次に90ページの上から3番目、新設アーチェリー部補助金13万円、新設アーチェリー部というのはどんなところであれになったのか。90ページ、災害復旧費300万円、農地債ですね、何カ所ぐらいでどんなような内容なのか。

あと、続きまして今度は水道事業ですね。水道事業227ページと228ページとありまして、228ページの建設改良費福岡地内配水管の布設工事、城東浄水場エアコン設置工事、不断云々と4つ、五郎山何とかとありますが、この辺の金額的なものと、なぜこれが必要なのか、その辺を教えていただければと思います。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） 学校教育課のほうから2点についてお答えを申し上げます。

まず、南那須中学校の改修工事でございますけれども、体育館の改修工事になります。委託費として200万円、体育館工事として5,000万円計上されてございます。5,000万円の内容につきましては、体育館の屋根、壁、床、外装塗装、そういったものを含めて全て改修をするということで大規模改修を予定しております。

それと、指標碑移転及び新設ということで、これは学校の校訓などが書いてある記念碑の石があるかと思いますが、その現在のものの移設と新たに校訓を書いた石を設置するという工事でございます。

それともう一つ、スーパーティーチャー育成事業につきましては、学力向上を目指して実は各学校の先生方、一応今現在予定しているのは各小中学校7名の先生方を一緒に行ってもらいまして、学力等の高い地域に行って、実際の現場の授業を見たり、どうしてその地区が学力の位置が高いのか、そういったものを検証していただくというような事業でございます。それをもとに、帰ってきていろいろな研修会等を開いていただいて、各学校の先生の皆さんに伝えていくというような事業でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 私のほうでは建設工事一覧の商工費の65万9,000円の看板の設置ということでございますが、昨年4月にオープンしました大金駅前観光交流施設の案内板、県道からの案内板をつくっていませんでしたので、今回、電柱とかそういうところを使って4面の案内板を設置したいということの工事費でございます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 佐藤生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤新一） 予算書の90ページ、上から3行目の新設アーチェリー部補助金でございます。現在、体育協会のほうに23の専門部がございますが、アーチェリー競技につきましては、まだ専門部が設置されておられません。平成34年の国体開催に向けまして、アーチェリーという競技自体を市民の方に親しんでいただくためにアーチェリーの専門部のほうを今回新設する予定で今回組ませていただきました。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） お答えします。農政課のほうでは新規就農支援事業でございますが、予定としまして2人分、年間50万円ということで一応予定をしております。新しく就農された方、親元就農等を含めて新規就農総合支援のほうで該当しない方に給付するという計画で予定をしております。

それから、災害復旧費でございますが、こちらにつきましては、市単独の補助金ということでどこのということは想定しておりませんが、本年度、昨年度等の実績等から見ましてこれぐらいかかるかなというつかみでございます。なお、農地と農業用施設と両方合わせて300万円ということでございます。

○議長（佐藤昇市） 大谷上下水道課長。

○上下水道課長（大谷頼正） 228ページの水道のほうの建設工事の一覧の内訳ですけれども、福岡地内の配水管布設工事につきましては、現在、今、福岡の交差点のところですね、

道路改良工事がされております。その関係ででき上がってきますと、舗装復旧等されますので、この工事に合わせまして、交差点のところの水道管が配管が細くて水圧が悪いという状況が一部あるものですから、今回の工事に合わせて交差点のところに水道管を埋設する工事です。金額としては1,690万円ほどになります。

続きまして、城東浄水場のエアコン設置工事ですけれども、こちらにつきましては、城東浄水場の管理棟の室内に電源である高圧のキュービクルが入っているんですけれども、最近、夏場、非常に気温が上がってキュービクルのほうも異状を来すというのが見受けられるという指摘がありましたので、今回、エアコンをつけまして夏場の室内の温度を下げたいということで行うものです。金額的には247万円程度です。

続きまして、不断水の制水弁の設置工事ですけれども、こちらにつきましては、烏山地内に配管上、バルブが少なくて漏水修理とかするとき支障を来す、またはお客さんに迷惑をかけてしまうというところがあります。そのために、今回、不断水の制水弁を設置するものです。こちらにつきましては180万円程度です。

続きまして、五郎山の配水池の屋根防水工事です。こちらにつきましては、以前に五郎山の屋根の防水塗装がはがれて支障があるということで、一部修理したんですけれども、今度は修理していなかったところがやはり劣化しまして、あとカラスのいたずらが激しくて防水塗装がはがれてしまいました。その関係で全面的にやはり防水工事を行うということでございます。金額的には1,427万円程度になります。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 8番 渋井由放議員。

○8番（渋井由放） それでは、再質問というか、再度お聞きしたいと思うんですけれども、まず、新規就農促進事業費、これについては国のほうで補助金があるんですけれども、それに該当しない例というのはどういう意味かちょっとわかりませんが、親元で親と一緒に仕事をするとか、そんなような内容かなと思うんですが、その辺の内容をもうちょっと詳しく教えていただければなというふうに思います。

あと、スーパーティーチャー育成事業ですね、7名の先生が学力の高い地域と一言で言うどっち方面なのか、まずその辺と、帰ってきますと、それを習得してというか、研修をして各学校でそれを広めていくと、こういうような内容なのかなと思うんですが、学力の高い地域というのは宇都宮なのか、もっと秋田のほうへはよく各あれが行きますけど、そっち方面なのか。その辺をちょっと教えていただければなと思います。

あとは、新設アーチェリー部は非常にいいことなんだと思うんですけれども、アーチェリーに親しんでいる団体でやりましょうという方がいらっしゃっての、こういう設立だと思っ

すけれども、何人ぐらいの方で設立されるのかなというようなことですね。

あと災害復旧費については、一応このぐらいかなと実績を見て入れたんだというので、これはしようがないかなと思うんですけれども。

あと大金駅前交流館につきましては、電柱を利用した4面、4カ所、ちょっとその辺が不確定だったんですけれども、簡単に言うと、例えば駅前の信号のところにつけるとか、向こうから入ってくるほうにつけるとか、何かそんなようなのがわかればありがたいかなと思うんですね。

あと、キュービクルが熱くなってエアコンを入れるんだというようなことだと思うんですけれども、これ、どのぐらい年間、利用する予定になっているのか。もっとも入れればずっとあれかもしれないんですけれども、その熱くならないキュービクルというのはないのかもしれないんですけれども、その辺の検討はされたかどうか。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） まず、新規就農促進事業の詳しい説明ということでございますのでお答えします。先ほどちょっと50万円掛ける2人分ということで申し上げましたが、これはまだ事務レベルで調整中のところでございます。この後、調整会議等開きまして正式には決めるところでございます。まだ計画段階でございます。

それを踏まえまして、青年就農給付金、国の制度がございますが、こちらに該当しないというのは、青年就農給付金のほうは年齢要件とか所得要件とか、それから親元の就農はだめだよとかありますので、そういうところから漏れちゃったということで考えております。ですので、Uターンしてきて親元で就農するとか、その辺を考えておりますが、そういうことで考えております。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） スーパーティーチャーの育成事業でございますが、行き先ということでございますが、今回2回ほど予定しておりまして、先ほど申し上げましたとおり、小中学校7校で7名、あと随行で1人追加いたしますけれども、全体で8名ということで、1回目は学力調査等で常に上位に入っているという福井県のほうに予定をしております。2回目等については、そちらの結果を参考にしまして選定していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 佐藤生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤新一） アーチェリー部の新設の関係ですが、アーチェリー協会の理

事で初音から出ている方がいらっしゃいますので、その方を中心に組織化を図りたいと思っております。また、烏山女子高校、烏山高校のOBも何名かいらっしゃるなので、その方も声をかけてしまして10名程度で新設をしたいなと思っております。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 大金駅前の観光交流施設の案内板、先ほど4枚つくるということで、それには今現在、電柱とかN T Tの柱とか標識等を利用して、そこに付けるという考えでの設置方式で、大金駅前の信号あたりからそこに2カ所、3カ所つくって、あと施設前のあたりに1カ所つくるという考えで設置するという考えでおります。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 大谷上下水道課長。

○上下水道課長（大谷頼正） 城東浄水場のキュービクルにつきましては、管理棟の中に密閉されております。非常に高圧な施設なものですから、ほかから進入されないような形になっておりますので、夏場は特に高温になってしまいます。また、キュービクルを更新することになりますと、やはり数千万円お金がかかってしまうので更新は考えておりません。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 8番渋井由放議員。

○8番（渋井由放） 今のは了解いたしました。1つ確認で忘れたのがありまして、南那須中学校の旧荒川の指標といいますか、それを移動するとともに、新しい南那須中学校の指標碑というものを新設するというようなことでよろしいのかどうか。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） はい、そのとおりです。

○8番（渋井由放） 了解しました。

○議長（佐藤昇市） 9番久保居光一郎議員。

○9番（久保居光一郎） 9番の久保居です。私は9点について伺いたいと思います。

まず、私、予算概要のほうで大体いきますので、1項目だけ予算書のほうからになりますけれども、まず、予算概要の2ページであります。英語コミュニケーション事業なんですけど、これの推進事業費拡充ということで2,610万5,000円計上されておりますけれども、うちのほうは何年か前から英語特区を設けておりまして、かなり活発にこの英語のALTの教員を導入して授業の中にも、またことしは幼稚園、保育園まで英語をさらに浸透させようという取り組みを行っているところであります。

大変いいことだとは思いますが、小学生、中学生、ALTの方に指導をいただいてかなりレベルも上がってきているかと思うんですが、県内の市町村と比べてうちのほうのレベルはど

の程度なのか。もし、おわかりでしたらば、そのレベルについてお聞きしたいなと思っております。

2番目が、やはり予算概要の18ページでございます。本市は七、八年前から奨学金を出しています。高校生、大学生、短大生に対してですね。今年度の予算731万8,000円出しておりますけれども、今までこの奨学金を使って卒業された学生、生徒さんもいるかと思いません。しかし、これ、途中で学校をやめちゃったという事例がないのかどうか。奨学金に認定して、これ、奨学金を学生にあげるにしても、そういう委員会の制度がありまして、そこで奨学金をあげる学生を認定していると思うんですが、中途退学の場合はどういう措置をとっているのか。その辺について伺いたいと思います。

3番目は、この予算概要の7ページでございます。長者ヶ平に多目的広場を整備ということで400万円計上しておりますけれども、これはどういう広場をつくるのか。また、長者ヶ平は7年前か五、六年前かちょっと忘れちゃったけれども、うちに記事があるんですけども、東山道の歴史を知る中で、大変長者ヶ平は重要な施設なんだというようなことで新聞に取り上げられたことがございます。そのときに、大谷市長が述べているんですね。高根沢町、さくら市あたりと連携をとって、この長者ヶ平の景観やその遺跡を守ることに力を注いでいきたいというようなことを言われていた記事なのかなというふうに覚えておりますけれども、現状、長者ヶ平の隣にはもう太陽光発電が建っちゃっているわけですね。

そうすると、市長が六、七年前に言われたああいう取り組みならば、この敷地を現在の太陽光の敷地、地主さんの問題もあるでしょうけれども、やはり環境保全の意味からも、もっと確保しておくべきだったのではないのかなと思うので、あわせて伺いたいと思います。

それから、4番目は、2ページにございます武道館整備についてであります。予算は3億4,142万2,000円ですけども、これは前に議員全員協議会でお示しいただいた公園を1回きれいにして整備をして、その整地費に3,070万円かかりますね。それから、武道館を建てた後、防災公園をつくるわけですね、その周りにね。今ある木も何本か生かしてはやるんでしょうけれども、防災公園をつくるんだというようなことも聞いているんですが、そういうもの、それから、外構費等々も全部含めて3億四千何万円なのか、その金額とこれで全部が間に合うのか、その辺について、いや、敷地整備はプラス3,000万円は別なんだとか、外構工事とか防災公園は別なんだとか、もしそういうことであればその金額も伺いたいと思います。

5番目は19ページの人生の並木路管理育成費115万9,000円でございますけれども、これはたしか私も覚えがあるんですが、5年ぐらい前に人生の並木路のこれをどう処理するかという、その処理する検討委員会をつくって、そこでこの間の震災でこぶしヶ丘遊歩道あたり

の人生の並木路なんかはほとんど壊滅状態になっているわけですね。曲畑の並木路とか、そういうところも全部その委員会で見て歩いて、1回、そこに記念碑か何かを植えて終わりにしようというような話だったんですが、これ、管理費ということなので、そういうことはもう既にしてあるのか。また、していないで、ずっと今までのものを引きずってつけているのか。その辺について伺いたいと思います。

6番が17ページ、景観形成作物推進モデル事業、214万2,000円、これ農政課かな。これはレンゲ畑をつくったり、ヒマワリを植えたりというようなことで何年か前からやっておりますけれども、これをどういうふうに拡充していくのか。烏山線から見えるところにあるかと思うんですが、この景観形成を今やっているエリアに、どういうふうに将来的には展開していくんだというビジョンがございましたらば、それをお示しいただきたいと思います。

それから、7番目は1ページにあります企業誘致事業費7,588万4,000円、これはずっと継続してやっているわけでありましてけれども、ここ二、三年の実績、それからこの7,500万円ぐらい例年ついているかと思うんですが、これの内容についてお知らせをいただきたいと思います。

8点目は、予算書の負担金、補助金、交付金の欄の81ページ、地域雇用創造協議会に720万円出しているかと思うんですが、この地域雇用創造協議会は3年間の事業で、ことしの3月できっと終わる、国からの補助をいただいているんですかね、終わる事業かと思うんですが、これに720万円、市で補助するということは、継続して国のほうからもお金をいただけることになっているのかどうか。その辺についてまず伺いたいと思います。

それから最後の質問は、歴史資料館と山あげ会館についてであります。先日の会議で歴史資料館の管理条例が廃止されました。ですから、南那須にあった南那須歴史民俗資料館、それから烏山に今まであった歴史資料館も管理条例が廃止されるわけですね。どちらもなくなってくるわけであります。

それと並行して、ことしは山あげ会館に1億1,000万円の予算をつけて改修をすることになっています。これはユネスコ無形文化遺産登録に間に合わせてということではありますが、先日、平塚議員からも質問がございましたけれども、我々は今年度はユネスコ無形文化遺産登録がありますけれども、簡易な改修にとどめて、そしてそこに将来的に歴史資料館も併設することを含めて検討したらどうだということを再三市長にお話をしているところでございますけれども。

歴史資料館については、前にきちんと我々に提示しましたよね、図書館を兼ねたあれでCGを含めた図面を。あの図面を業者に頼んでつくる、専任の担当者をつけてどのくらいの時間がかかったのかわかりませんが、業者にも恐らく300万円ぐらいは払っているんだと思

うんです。

それは結局ボツになったのか。ボツになって山あげ会館に歴史資料館を一緒に入れるのであれば、それとも歴史資料館を今回の今ある歴史資料館は管理条例が廃止にして終わったけれども、新たにまたあの辺に建てる計画なのか。その辺のところはどうも見えてこないと私は思っているんです。

もし、歴史資料館を今の山あげ会館の中に入れるのであれば、やはり先日、平塚議員が述べたように、私も夏の山あげ期間のときに山あげ会館が使えないというような状態はいかがなのかなど、簡便なトイレの改修とか、最低限のものにとどめてじっくりと、その歴史資料館とあわせてどうあるべきか。幾らぐらいの金額がかかるのかということのを再検討することも私は必要なんじゃないかなど。何かやっていることが行き当たりばったりのような、もう11月にユネスコ無形文化遺産登録があるから、それまでに間に合わせればいいんだというような、何とか形をつけたいんだというような急いでいる部分があって、将来的な公共施設のビジョンが執行部の中に本当にあるのかどうか、その辺について伺いたいと思います。

以上9点です。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） 私のほうから、まず英語コミュニケーション授業につきましての質問にお答えしたいと思います。平成27年度までは6人体制でやったわけなんです、平成28年から7人体制ということで各小中学校全ての学校に配置をするということで、予算等の計上をしております。

そのALT派遣が手厚くなってきたということで、そのレベルはどうなっているのかという御質問だと思うんですが、細かい数字的なものは実際にはつかんでおりませんが、ただ、一般質問の中で中山議員にもちょっとお答え申し上げたんですが、文部科学省では3級以上の英検のレベルの方たちを50%を目指すというようなことでやっておりますけれども、一応現在、那須烏山市では約48%まで進んでいるということで、英語に関してはそれなりの効果が出ているのではないかという気がいたします。

目標数値は平成29年度までに50%ということで、市のほうは現在で48%ということなので、もう。（「ほかと比べて上のほう」の声あり）ええ、ほかのところと比べると若干いい成績であるというふうには考えております。また、今後、ALTの派遣など、また英検の補助などもやっておりますので、さらにちょっとよくなってくのではないのかなという気はいたします。

続きまして奨学金でございますが、途中の退学者というか、学校をやめられた方ということで、今までの中では1名ございます。平成27年に1名ございました、大学生でございますが、

それ以外はいません。1名だけです。その1名につきましては、一応やめた時点で打ち切りと  
いうことでさせていただきました。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 佐藤生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤新一） まず、第1点目の武道館の整備費でございます。こちらのほう、今回の計上予算額が3億4,142万2,000円ということで、こちらにつきましては、武道館の本体工事費用が3億3,000万円、あと工事の監理料が1,000万円、そのほか収入印紙等の手続等に係る費用ですね、あと下水道の加入料とかに係る費用がありまして、3億4,142万2,000円という額が計上されております。

御質問の全般的な工事費用でございます。3月の補正予算の中で皆さんに御承認をいただいております解体撤去工事関係が3,000万円、あと雨水処理に伴います工事関係が3,690万円、本体のほうの工事が終了してから周りの外構の整備を図るものでおおよそ4,000万円という形で現在見込んでおりまして、設計費も含めると4億5,000万円程度の総額になるかと思っております。ここには公衆便所の費用も含んでおります。

あと人生の並木路関係でございます。こちらのほうが記念碑のほうが平成26年度で第3回の団地入り口関係が終わっておりまして、小貝川の第8回、第9回のほうも既に記念碑のほう  
が建っております。あと、今年度平成27年度で第4回、第5回、第6回、第7回の藤田遊歩道のほうの記念碑がもう既に建っております。ただ、第6回、第7回の藤田遊歩道につきま  
しての伐採関係がまだ終わっておりませんので、平成28年度実施ということで今回予算の計上  
をさせてもらっております。

現在、残っているものが第1回目の大溜関係と2回目の工業団地関係のまだ入り口の部分が  
残っておりまして、そのほか第10回の小河原地区内のものが残っております。そちらのほう  
の維持管理費といたしまして今回計上させてもらっておりますのが、今回の予算の費用でござ  
います。

○議長（佐藤昇市） 両方文化振興課長。

○文化振興課長（両方 裕） それでは、文化振興課関係は2点ほどありましたので回答し  
たいと思います。

まず最初に、予算の概要の7ページの長者ヶ平遺跡関係の整備費400万円でございますが、  
こちらにつきましては、本年度長者ヶ平の遺跡の公有地化等2,800平米をはかりました。  
そちらを活用いたしました、駐車場等がございませんのでそこを多目的広場といたしまして、  
整備をいたしまして、そこに暫定的な駐車場を整備をいたして活用したいということの整備費、  
合わせまして、移動がきくような説明看板も設置をする予定でございます。その費用でござい

ます。

2点目の資料館の関係と山あげ会館でございますが、文化振興課の関係で資料館の整備計画の点につきましては、資料館のほうの歴史資料館の整備計画につきましては、かねて平成26年度に整備計画を基本計画を策定いたしまして、議会のほうにもお示しをしたところでございます。

それにつきましては、現在の烏山郷土資料館の地に、烏山図書館とあわせたような複合施設ということで整備をするということでお示しをしたところでございますが、それで整備年次は平成29年度ということで一応目安ということであったところでございますが、今般の財政事情とかそういったことで、その整備年度と内容につきましては、その整備計画全てを破棄ということではなくて、そのコンセプトとか内容については再度、今度、公共施設整備計画とか、市のグランドデザインとか、そういうのを整備する中で、その内容について再検討するということで、施設規模とか内容とか財源及び整備年次ですね、そちらについては再考するというところでございます。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 私のほうからは、景観形成作物推進モデル事業についてお答えいたします。議員御存じだと思いますが、基本的にヒマワリの景観につきましては、ファームあらんという土地改良関係の団体をお願いして、ブロックローテーションでやっているところの場所にヒマワリを植えていただいているという事業がありますので、その所得保障的なところの経費が大きなところでございます、費用的には。

昨年実施した場所がとても好評だったので、本年はその場所を指定して引き続きお願いしてございます。そのほかには平成26年度から滝地区にコスモスで始まりましたが、本年度は地元の花農家の方の協力を得ましてユリのほうを植えさせていただきました。今、取り組んでいるところはこの2カ所なんですけど、今後につきましては、その烏山線沿線という意味合いがまず1つありますので、そういうところに何らかの形で広げていけたらいいなというのは考えておりますが、具体的にここというのはまだ決めていません。

それから、もう一つ意味合い的には、遊休農地の解消ということも農政課としては取り組まなければいけないので、そのほうとの絡みも考えて今後広めていきたいと思っております。

○議長（佐藤昇市） 両方文化振興課長。

○文化振興課長（両方 裕） 私のほうで1点、答弁漏れがございました。長者ヶ平関係の保存計画についてでございます。こちらにつきましては、長者ヶ平は、平成21年2月に国の史跡に指定されました。その1年後、平成22年3月には、さくら市と那須烏山市の教育委員会のほうで長者ヶ平の保存計画のほうを策定しておりまして、そちらに基づいて今後保存して

いくということでございます。

現在、その長者ヶ平の区画の中に、久保居議員御指摘の太陽光が整備をされたということですが、そちらにつきましては、その指定時に地権者の同意が得られなかったということで、この部分は史跡の指定から外れているところで、今回、太陽光のほうを整備がなされたということでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 私のほうには2点の質問がありましたのでお答えいたします。

まず1点目ですね、概要書の1ページの企業誘致事業費7,588万4,000円について御説明申し上げます。これ、予算書においては47ページにありまして、その説明欄には工業振興対策費ということで7,750万4,000円ありますが、その中に事業が2つあって、その1つがこの企業誘致事業費があります。

もう一つはこの中に富士見台工業団地の管理費ということで162万円ありまして、合計で7,700万円になるということですが、企業誘致事業につきましては、平成25年度から企業誘致奨励金事業を実施しておりまして、昨年3月議会においては、奨励金の見直しを提案して承認されたところでございまして、ほとんど補助金で企業立地の奨励金を出しております。7,588万4,000円のうち企業立地奨励金につきましては、20件分で7,557万8,000円です。その差額5万円については協議会、県の企業立地促進協議会への負担金ということでございます。

この企業立地奨励金、今年度は当初17件ほどでありまして2,700万円ほど予算に計上させていただいているところでございますが、今回、平成28年度分につきましては今年度から4点減りまして、新たに今度奨励金対象事業が7件プラスして20件において、この金額が予算計上されておりまして、その事業に係る申請の事業規模が大きいことによる事業費の補助金の拡大ということになります。

2つ目が、交付金の81ページの720万円ということでの質問です。雇用創造協議会の地域雇用創造協議会交付金720万円ということですね。今、議員おっしゃるとおり、この事業はことして3カ年、3年目の、3月をもって国の委託期間は終了するものでございます。ですが、この事業は3年前の7月から始まっておりまして、実績につきましては、国の実績については6月末日までの事業報告をするということですが、その4、5、6月、3カ月分のまた同じ経費を人件費とか事務処理費等かかりますので、3カ月分の事務費等を計上させていただいているところでございます。その分は市単独補助金ということになります。

なお、現在の雇用創造協議会については、現在、また新たに国に対して申請をしているとこ

ろでございまして、2月19日に国に申請しております。あさって、ヒアリングが東京でありますので、私行きますが、採択期間は3カ月後、5月末になると思いますので、そうしたらまた申請をとって7月から開始ということで、まだ新たなことで申請を現在しているところでございます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 9番久保居光一郎議員。

○9番（久保居光一郎） 1番目の質問から再質問していきたいと思います。英語コミュニケーション事業、これはALTを今年度1人増やすから400万円ぐらい増えるということでございます。英語、確かに大事でありますけれども、うちのほうは私は教育にお金をかけちゃだめだと言っているんじゃないですよ。しかし、教育費は市長が言う身の丈以上の教育費、これ以外もそうですけれども、いろいろな学校の施設整備費や何かも入れると、この10年間でかなり使ってきていると思うんですね。ですから、ぜひ成果が出るようにやっていただきたいと思います。

2番目の奨学金制度もそうです。これも身の丈以上に全部あげちゃっているわけですからね、半額返納とかという奨学金の返納制はないわけですから、一番財政が厳しいという今定例会の質疑の中でも財政が厳しいということを書いていながら、こういうところでは全額ほかよりも、恐らく県下でもうちの市とあと壬生かどこか2つぐらいしかないですよ。財政の内容が全然違いますから、壬生なんかと、うちのほうは。それでも全額奨学金でやっている。

こういう卒業した人が市に残ってくれるのかどうかということも追ってはいないと思いますが、外へ出ていかれるというようなことですから、やはりしっかり選考委員会のときに必ず奨学金もらったら卒業すること、どんな苦しいことがあっても卒業する、そういう誓約書を書いてもらう必要もあるんじゃないのかなと。でなければ、途中でやめるのであれば、それまでの分は返還してくれとか、そういうことも委員会の中で検討する余地があるんじゃないでしょうかということをお願いしたいと思います。

それから、3番目の長者ヶ平に多目的広場をつくるための予算だということでございます。これは了解です。しかし、市長、これ、五、六年前に新聞で、さくら市なんかと連携をとってと言ったときに、地権者の同意は得られないかもしれないけれども、太陽光が建っちゃって私は周りの環境がかなり破壊される。長者ヶ平の遺跡に対しては損失なんじゃないかなというふうに思うんですが、市長のあのときの意気込みから見て、今、どういうふうにお考えになっているか、これは市長に対して答弁を求めるものであります。一つ一つ聞いていったほうがいいよな。全部言っちゃったほうがいいよな。

○議長（佐藤昇市） 休憩します。

休憩 午後 1時49分

再開 午後 1時50分

○議長（佐藤昇市） 休憩に引き続き再開します。

9番久保居光一郎議員。

○9番（久保居光一郎） それから、景観形成作物推進モデルについては、農政課長の説明わかりました。同じところに同じようなことをやるんじゃないくて、やはり発展的にビジョンを持ってやればもっと違うのかなというふうに考えております。

それから、企業誘致事業、これは企業が何件誘致されているかという部分ではないと思えますね。商工観光課長が言っている20件とか17件とかって言っているのは、企業が何件誘致されたか。それについてお答えいただきたい。

それから、地域雇用創造協議会の720万円はわかりました。

それから、資料館と山あげ会館の絡みについてですけれども、これ、市長の考えを伺いたいと思います。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 大谷市長。

○市長（大谷範雄） 長者ヶ平につきましては、平成21年に国指定をいただいたんですけれども、あのときは東山道も一緒に関連をしていたものですから、隣接をしているさくら市との協定も締結をさせていただいて、そのようなところから、あれは国指定のもとで、さらに観光客を増やしていこうというような協定であったというふうに思っています。

そのようなところに当該地域の太陽光のところは、まさに民地でありましたのですが、そのような用地交渉に至ったんですが不調に終わったと。そのようなことで、ああいった太陽光ができたことは、この国指定の側から見ますとちょっと残念な気持ちなんですけど、ことやはり民地の地権者の意向ということでございますので、このことについては御理解をいただくほかにいかなと思います。

歴史資料館等につきましては、先ほど文化振興課長からもお答えをさせていただきましたけれども、今、この整備計画については、見直しも含めた再検討をさせていただいておりますので御理解いただきたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 企業誘致関係で地元への誘致ということですが、地元の企業8社がこの奨励金の対象として誘致されております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 10番渡辺健寿議員。

○10番（渡辺健寿） 五、六点について伺います。1点目は、43ページですか、衛生費の中のごみ巡回収集処理費4億2,800万円何がしとあります。前年度より6,124万円ぐらい大幅増になってございます。この要因は広域の負担金でも増えたのかなと思うんですけども、その辺の説明をいただければと思います。なお、ごみについては人口の減少あるいは分別収集の徹底ということで、多少なりとも年度ごとに、ごみの量そのものが減じてはいないのかなと思うんですが、その辺の量の増減をわかればお示しいただければと思います。

逆に、し尿処理のほうは2,000万円余減じた予算になっておりますが、この辺は合併浄化槽とか下水道接続というようになろうかと思えますけれども、その辺もあわせて説明いただければと思います。

それとちょっと前後しますが、農林業の畜産費のほうであります。国庫補助、国、県9,644万円を受けることを前提に9,672万円の予算が組まれております。昨年若干おくられている部分もあって、このような事業費になっていると理解しておりますが、草地の造成とか施設、多分六、七人いるのかなと思いますが、ここらは何人でこれだけの事業費なのか。

さらに、一般財源28万円は、これは事務費程度じゃないのかなと思うんですけども、昨年の9月から12月ごろで、市でもこれだけの事業をやるんだから、市の上乗せも多少考えますという説明があったと思います。これらは当初予算でまだ事業も年度半ばか後半になるということ計上していないのかどうか。補正予算で対応するのかと言われればそれで結構でございますが、その辺の説明をいただければと思います。

それと、45ページの地籍調査の件であります。3,360万円余、昨年より465万円ほど減じた予算になってございます。ことしの新規の調査区域はどの辺になるのか、お伺いしたいと思います。

次に47ページの林業振興費の元気な森づくり推進事業、これも新たに始まる地域、これをお示しいただければと思います。

同じページの商工費の中のプレミアム商品券の発行は1,585万円ということでありまして、ことしは15%ほどを考えているという説明がありました。これは夏のころやるのか、暮れのころに考えているのか、お伺いしたいと思います。

もう1点、61ページであります。学校給食費の中の給食センターの運営費8,720万円余あります。これらも先ほどのごみではありませんけれども、生徒数の減とか、多少はあると思うんですが、この辺の事業費は比較しますと昨年よりわずかですが増えているんですけども、圧縮傾向にはいかないのかなということで説明をいただければと思います。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 薄井環境課長。

○環境課長（薄井時夫） ただいま予算書の43ページ、塵芥処理費関係の御質問をいただきました。まず1点目ですね、塵芥処理費関係、昨年度対前年比で6,100万円ほど増えているが、その理由はということでございますが、まず1点目は、ごみ収集業務ですね、長期契約でやっています、平成27年度で5年契約が終わります。平成28年から新しく長期契約3年で進むという関係がございまして、その関係の見直しの関係が約1,500万円ですね。

それから、広域の負担金関係、こちらが約3,000万円、塵芥処理費関係ですね、トータルで6,100万円ということになっています。ただし、前段の長期契約については、1月下旬入札をやりましたので、この分のうち約1,000万円程度は平成28年度の補正予算で減額予定になっていますので、補足させていただきます。

それから、3点目のし尿処理費関係でございますが、こちらも対前年でこちらは2,000万円減額ということで、その理由のお尋ねでございますが、こちらは広域行政のし尿処理費の負担金ということになっていまして、その内訳を申しますと、交付税分と市の負担分という2つに分かれていまして、その交付税分が約2,000万円、次年度分ですね、減ってくる関係がございまして、こちらが2,000万円減額という形になりました。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 農政課のほうからは畜産振興費について、まず1つお答えいたします。まず、小さいほうの28万円でございますが、こちらにつきましては、八溝西部開発事業畜産団地というのがございまして、その水質検査を引き続き実施しております。その経費が28万円でございます。

それから、補助金のほうでございますが、こちら、畜産担い手育成総合整備事業費補助金ということでございまして、こちらの補助率につきましては、国が50%、県のほうが草地の場合に25%、建物の場合10%ということの補助率がございまして、市のほうの義務的負担というのはありません。

那須烏山市では、5名の方が平成27年度から平成30年、4年間の間で取り組むことになっておりまして、こちらの取り組みにつきましては、栃木県農業振興公社が請け負ってやることになっております。今回のこの事業ですが、栃木塩那地区ということのくくりになっておりまして、本市のほかに矢板市、さくら市、高根沢町、那珂川町のほうでも取り組んでございます。

それで、補助の市の上乗せということでございますが、ここまで調査したところでは、このほかの取り組んでいる市町のほうからの上乗せというのはまずしていないということと、また、

今まで本市にこのような事例がないということ等もごございます。今のところは、当初の予算ではその上乘せというのは見込んでおりません。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 高田都市建設課長。

○都市建設課長（高田喜一郎） 45ページの地籍調査費なのですが、去年より465万円減額になっているわけですが、これは県とか国の予算の割り当てが少なくなっているせいです。

平成28年度に実施する箇所なのですが、大里の3地区、大里の3年目ということ。大木須の6地区で大木須の6年目というようなことになっています。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 失礼しました。元気な森づくり事業のほう、漏れておりましたのでお答えいたします。元気な森づくり事業につきまして、平成28年度から取り組むというところはごさいません。この事業のほうは平成29年をもって終了となっておりますので、今のところは平成28年度に新規に取り組むところは受けておりません。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 私のほうからは商品券発行支援事業についてお答えいたします。来年度につきましても、本年同様プレミアム商品券を商工会の要望におきまして発行したいと思っております。プレミアム分は15%ということで1,500万円の補助で総額1億1,500万円を想定しておりまして、発行時期は商品券につきましては半年という期間がありますので、本年度同様7月から12月末日という予定を考えております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 岩附学校教育課長。

○学校教育課長（岩附利克） 私のほうから、学校給食運営費のほうでお答えをさせていただきたいと思えます。学校給食運営費につきましては8,728万9,000円ということで72万7,000円ほど増ということでございますけれども、学校給食センターのほうは調理配送業務のほうは委託ということで、これはほとんど変わりがありません。

ということで、なかなか生徒数、児童数が減ったとしても、それほど大きな減額はないというのが実情でございまして。72万7,000円の増というのは、実は施設関係で自動ドアとか、そういったものの故障が出てきているというようなことで、そういったもののスポット委託というか、そういった委託業務等が若干増えているというような状況でございまして。

以上でございまして。

○議長（佐藤昇市） 10番渡辺健寿議員。

○10番（渡辺健寿） 再度2点ほど伺います。畜産振興費の他市町にまたがる県の農業振興公社主体で事業を実施するので、単独の上乗せは今のところないということでありませけれども、他市町とまたがっても市単独で多少の上乗せはできないことはないと思うんですが、考えがなければできませんけれども、昨年と同じ内容の質問については上乗せを前提に考えるという答弁があったと思うんですけれども、その辺はチャラになってしまったのかどうか、再度お伺いしたいと思います。

広域のほうの交付税分が2,000万円減じたというのが総事業費の減になっている。ちょっと広域に行っていないので説明をもう少しだけいただけないとわからないので、再度お願いできればと思います。

あと、商品券の発行は7月から12月に活用ということですから、6月か7月に発行するという理解でよろしいのかどうか。よろしくをお願いします。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 畜産振興費のほうの市単独上乗せでございますが、できないというのではなくて、調整検討した結果、事務局サイドではほかの市町村との調整等もあります。例えばうちのほうだけ先走ってやっちゃうと、ほかの市町村でどうなんだろうということも、そういうことも考えられますので、また、その規程等もありませんので、とりあえずといいますか、上乗せは計上しなかったという次第でございます。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） し尿処理費の交付税算入分の減額ということでございますが、過去におきまして行政事務組合のし尿処理施設の整備の際に、起債を借り入れて事業を実施しておりますけれども、起債の償還に対して交付税措置がございます。今回、減額となっている部分については、平成27年度でその償還が終わった部分がございますので、その減額ということでございます。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 商品券発行、先ほど7月から6カ月間ということですので、それまでに例年どおり商工会事務所のほうで2カ所、それと、去年の反省を踏まえて、ほかでも発行できるように検討して、発行場所を広げたいなということも検討中でございます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） ここで休憩いたします。

休憩 午後 2時07分

再開 午後 2時15分

○議長（佐藤昇市） 休憩前に引き続き再開します。

11番高德正治議員。

○11番（高德正治） 平成28年度的那須烏山市予算書についてお伺いをいたします。

36ページの3款民生費の中の生活困窮者自立支援事業費343万8,000円についてお伺いをいたします。

74ページ7番の建設工事一覧表の中の農林水産業費の農地費農地耕作条件改善事業工事下川井地区についてお伺いをいたします。

84ページの補助金の中の企業立地奨励金7,557万8,000円について、先ほど同僚議員からの質問もありましたが、この7,557万8,000円は20件ということではありますが、さらに追加が出るのか、その辺をお伺いをいたします。

介護保険特別会計予算についてお伺いをいたします。167ページ、3款の地域支援事業費1目の介護予防生活支援サービス事業費第1号5,508万7,000円について、事業の内容をお伺いをいたします。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） まず、36ページでございます。生活困窮者自立支援事業費343万8,000円の内容でございます。こちらにつきましては、生活困窮者自立支援法が平成27年4月から適用になりました。これに伴いまして、来年度も自立支援相談員ですね、こちらを1名、現在も配置しております。引き続きこちらを配置する必置義務でございますので、そちらの人件費等の配置経費が281万7,000円、それから、この法律に伴って居住確保給付金というのも予算措置をしまして62万1,000円を予算計上しております。

こちらの居住確保給付金につきましては、いわゆる失業等によって住宅を追われるような場合、そちらを支援して、就労の機会を確保できるための準備的な経費ということで、この生活困窮者自立支援法の規定に基づき、こういった制度をつけているものでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 私のほうからは、農地耕作条件改善事業ということでお答えします。こちら、下川井地区におきまして、堰板等の改修の必要性が生じたものですから、国庫事業になります。こちらを活用いたしまして実施するものでございます。補助率でございますが、国庫の国分が50%、県分が15%、市分が10%、残りを個人というか受益者負担ということになっております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 企業立地奨励金につきましては、この1月1日現在で課税された企業が、課税を4月以降納めた事業に対しての奨励金を発行するという事ですので、今年度はこれ以上増えることはないということです。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） 先ほど一括して御答弁申し上げればよろしかったんですが、介護保険関係の介護予算のほうですね、167ページでございます。介護予防生活支援サービス事業ということで5,500万円でございますが、こちらにつきましては、今回新たに総合事業という事業で、介護保険法の改正に伴って、来年度から平成28年度からこの要支援1と2の者を対象とした事業をこの介護予防生活支援サービス事業ということでやるものがございます。

内容は、訪問介護、通所ですね、デイとかヘルプ事業ですね、こちらをこの予算科目で支出する事業でございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 11番高德正治議員。

○11番（高德正治） 1点だけお伺いをいたします。先ほどの介護予防生活支援サービス事業の総合事業ということで、どのくらいの人数を平成28年度は予定しているのか。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） こちらは給付の件数になりますので、ちょっと改めて数字を取り直してみたいと思います。申しわけございません。

○議長（佐藤昇市） 14番樋山隆四郎議員。

○14番（樋山隆四郎） 私のほうは財政状況、これは合併当時から現在までどのように変化してきたのか。そして、これからどう推移していくのかということであります。

まず、合併当時、これは歳入歳出ですが、全体的な予算が106億円ぐらいだったんですね。それからもう平成28年、今年度、これは114億円8,400万円、8億8,000万円ぐらい増えているわけですね。これだけ予算規模が大きくなっているんですが、しかし、この大きくなっている原因は何かというと地方交付税です。地方交付税は合併当時は37億円ぐらいしかなかったんです。ところが、今は44億円。7億円も増えているわけですね。

こういうふうな状況で、これからどういうふうになっていくかというと、自主財源は39億4,200万円、これ、平成20年度ですよ、合併当時ですよ。しかし、今は37億

2,300万円、2億1,900万円も減っているんです、財源、合併当時から見ると。その分、地方交付税が増えているわけですね、7億円も。それで、この自主財源比率というのは、県下最低ですね。26市町村の中の最低。これも31%しかないんです。市の平均は51.4%なければ平均にならない。お話にならないほど少ない。

こういう状況で、これからどういうふうになっていくのか。地方交付税は財政当局はあと5年で5億円、これぐらい減る。ことしから激減緩和措置で毎年1億円ぐらい減っていく。そのほかに、今度は自主財源が減っていく。なぜ自主財源が減っていくかということ、那須烏山市の産業別、これを見ていくと大変な状況なんですよね、今ね。今、合併当時、産業別の事業所と事業者数、これが激減しているんです。産業別事業所というのは、当時、161カ所あったんです。今は120カ所しかないんです。41事業所がいつの間にか消えちゃった。

従業員数は3,857人いた。今、3,150人、707人も減った。これはいかにこの10年間で那須烏山市の経済が縮小しているか。そうすると、これはここから入ってくる税収が激減する。こういうふうなものが推定をされるんです。

ですから、こういう状況の中で、これからの財政運営、どういうふうにしていくのか。この中でも一番多いのは、扶助費とか補助費、これが大変な数なんです。これが昔は20億9,100万円、ところが今、40億3,300万円、こういうふうになっているんです。そうすると、この増え方が11億4,200万円も増えているんです。財政当局、これからどういうふうにやっていくか。この問題が減らないと、なぜ減らないのかということ、これには法的に負担しなければならないもの、社会保障4経費とって、これは社会福祉、社会保険、保健衛生、これはもう法律に基づいていますから出さなきゃならないです。これが毎年増えているんです。39億2,300万円、このぐらいの額があるわけです。これ、全部でないですが、一般財源でも36億7,100万円、これは増えることはあっても減ることはない。

こういう状況で、これから財政当局としてはどういうふうに財政運営をやっていくのか。ここを私は聞きたいわけなんだが、10年も前ではおれはそんなこと知らない、これからどうなるんだかわからないと言えましょうがないですが、わかる範囲で答えてもらいたい。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） 今後の財政運営ということで一般質問の際にも御質問をいただきましたけれども、合併当初、平成17年度の市の財政99億7,000万円でございます。それと比較しますと、やはり御指摘ありましたように15億円程度予算規模が膨らんでいる。さまざまな要因がございますけれども、特に、社会保障関係の経費ですね、これについては毎年度、同額、増加傾向にあるということは御指摘のとおりでございます。

今後でございますけれども、やはりその義務的な経費の部分がある程度圧縮をしていかない

と、全体的な予算規模の縮減が図っていけないということで、扶助費等なかなか国の制度等もございまして、それを縮減していくのはかなり難しいという部分もありますが、そのほかの扶助費でありますとか、施設の維持管理等が含まれております物件費ですね、そういった経費につきましては、市の単独補助金の見直しを初めとして施設の整理統合、そういったものを進めながらその経常経費の縮減に向けて財政運営をしていく必要があるのかなと、そのために平成28年度に公共施設管理計画を策定をいたしまして、今後の具体的な施設の維持管理等に係るシミュレーションをしていきたい。あわせまして、それに基づいた中長期財政計画の見直しを進めていきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 14番樋山隆四郎議員。

○14番（樋山隆四郎） これはなかなかその消費的経費というのは簡単に減るかい。減らすというけれども、あとは補助費だってそんなに減らない。その減らす要因としては、今あるのは企業誘致あるいは定住促進、企業誘致だって、これどのぐらいの効果があつたのか。定住促進と言いながらも、2月1日の新聞ですが、これは2万6,000人ですよ、今。2万6,881人、これ39人減っている。世帯数では9,459、12世帯減っているわけです。これで定住促進じゃない。定住減少作戦ですよ。これで、定住促進にこんな金を何で使うんだ。もうこんなやめたほうがいい。企業誘致もそう。これで何社ここに企業誘致ができたのか。その辺のところ詳しく、これはどこだかわからないけど。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 定住促進ということで関係のある質問なので、私のほうでお答えしたいと思います。平成25年から企業誘致関係、そして定住促進関係につきましては、5年間の時限立法につきまして補助金制度を設けまして、定住、そして企業の誘致を強化しているところでございます。

そういう中で、実績にもありますが、定住促進については必要な補助金40万円の最高の住まいづくり奨励金によって、市外からの人の転入を促進しているということで、これは最初に平成19年から平成24年、5年間やった結果を踏まえて効果があるということで、まだ現在も進めているところでございますので、これについてはこの事業によってアンケートもやっておりますが、前回のアンケートもありますが、今回もアンケートをやっていてその分析を図っているところでございますので、それによつての定住が図られていると思つているところでございます。

企業誘致につきましても、本市、県内でも独自の奨励金制度でございまして、それによつて企業は実質的に来るというのはなかなか事業用地等ありませんので難しいところ、それに

つきましては、工場用地ですね、その関係の条例も見直して事業用地を拡大して進めているところでございます。

回答になるかどうかなんですが、工業団地も持っていませんので、そういうところでの促進、そして既存の工業につきましては、緑地の緩和を昨年10月に行って、道路等によって敷地が減った場合の対応をしているところでありますし、工場の敷地の崩壊があれば、今年度新たに規程を制定して補助もしているということで、企業に対しては企業訪問を重ねながら、企業についての本市に残ってもらうための事業は展開していると思っております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 14番樋山隆四郎議員。

○14番（樋山隆四郎） とにかく政策をどうのこうのって言ったって、企業は来ていない、人は減っていて、それで促進になるのか。こういう費用対効果、こういうものほど費用対効果というものをよく検討して、一つ一つ補助金、負担金はどうにもならない。だから、そういうものを精査しなければ、おれはあと10年たったら15億円は減ると思うよ、歳入が。

大体まず5億円だろ、これは一応5年間で5億円、もう一つは税収、税収がこれで三千何百万円、3億円も減っている、あと5億円、10億円。その他の収入で5億円ぐらい。そうしたら、やっていけるかい、これ。どこかで財政を縮小しなきゃ。これを今から考えておかなきゃだめだって。だから、しつこいほどおれは一般質問でもやるし、きょうもやるし、こういうものには、はっきりした政策的なものを方向性を出しておかなければ、10年後どうするの。

これもできない、あれもできない、それじゃあしようがないだろう。財政というのはそういうものじゃないだろう。もうちょっと財政ならば長期見通しを立てておく。健康保険がいい例だろう。もう財源がないから上げる。何で2年も3年も前から少しずつ上げなかったんだ。一挙に上げるんだよ。なくなっちゃったからしようがない。そんな財政運営ってあるか。企業ならとっくにつぶれちゃう。

だから、財政当局もころころ変わるんじゃなくて、財政当局の担当者は、おれは専門職になれと言っているんだ。5年でも10年でもまちの財政だったらおれに任せろ。そういうプロをつくっておかなくちゃ、こういうことは中長期計画なんて立てられない。これからますます財源が減っていくんだから。そのときに必要なものまで減らすということになったら、これは市民の安全安心どころじゃないよ。人も減る、財源も減る、でもやっぱりそれに対してどう対応するかということをしっかり考えておかなければだめだ。おれはそう思うのでこれはすぐに回答できないだろうから、それはまあいいとしても、一応そういう意見がある議員がいたということぐらい覚えてくれ。

以上。

○議長（佐藤昇市） 17番小森幸雄議員。

○17番（小森幸雄） 昨年の9月の決算の認定の議会するときにも私のほうから、中山かぼちゃの関係で非常に生産者の高齢化が進んだり、部会員の減少ということで将来的に不安だということで、ここで何とかしなくちゃならないということで申し上げた経緯もございます。中山かぼちゃ、中山で生まれたカボチャですから、できるならまた中山に生産地を戻したほうがよろしいのではないかなと、種そのものは中山かぼちゃの種ならば、小木須でつくっても、向田でつくっても中山かぼちゃでは売れますよね。それはそれとしてですよ。

先ほど3番滝口議員のほうからも中山かぼちゃブランド力向上支援事業について質問があったかにと思いますが、まずは昨年度の面積はどのぐらいだったのか。また、収穫量はどのぐらいあったのか。いいものはJAを經由して首都圏のほうに販売できた。2級品はいわゆるフタバ食品とのアイスクリームのほうに回せて、2級品も含めて結局無駄がないように生産者からは買っていただけるということでありました。その辺の昨年の収穫量の状況ですね。

今年度、今、予算に上がっていますこの145万円の内訳の中で、新規栽培についてどのぐらい意欲的な生産農家があらわれてきたのかと、規模拡大に対しても支援をするというふうになっていますから、その規模拡大の意欲ある農家さんがここへ来て出てきたんだろうと思います。今からこれ、もう今、現時点でこれをやらないと、もうすぐですからね、種をまいて芽が出て膨らんで大きくなったらという話で、もう植えつけるんですから、もう今から準備しないとことしの間に合わないという心配がございます。

もう一つは、この予算書の中の20から21ページ、基金の利子の関係が出ています。利子があるということは基金がありますから、それなりの利子がついて一覧表に載っているわけがありますね。そういう中で、3月2日の初日の日に、庁舎整備基金を1億7,481万7,000円を、いわゆる土地開発基金を取り崩してと言っているのか、あるいは条例を変えてまでこの基金に入れたわけでありまして、この土地開発基金というのは合併当初、平成17年10月1日をもって、両町の土地開発基金を合わせて3億一千何ぼあったわけですね。それで今は、この1億7,000万円を回しましたから2億円は土地開発基金として残っていますね。

その基金のお金の管理といいますか、基金をどこへ預けて、利子が入っていませんから、この低金利、ゼロ金利、マイナス金利という金利情勢の中で、預けても利子につかないんだということで、これ、1億7,000万円、会計課長、どういうふうにするのか。

課長に聞いてもこれは財政当局のお金の管理だと思いますから、この辺の基金の利子がどういうふうになっていくのか。どういうふうに庁舎の基金を管理するのか。ことしは補正で基金を造成したわけでありまして、平成28年、次年度からはいろいろな事業を精査して、財政

調整基金に繰り入れる部分の一部でも庁舎のほうに回すよというふうに多分なるんだろうと思います、いろいろな預貯金で。それまではその先のことはいいですけど、今回のこの基金の利子はというふうにとらえたらよろしいのか御説明いただきたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 糸井農政課長。

○農政課長（糸井美智子） 中山かぼちゃ、御心配いただきありがとうございます。早速平成28年度から御提言をいただき取り組むわけですが、平成27年度の実績ということになると思うんですが、まず、生産者は中山かぼちゃ部会ということでJAのほうに入っている方の11名でございます。その作付面積は223アールでございます。

出荷量です、生産量とまた別になります、出荷量について把握している数字でございますが、市場に出ているのが1万2,430キログラム、直売所売りが1,359キロ、宅配が1,432キロ、加工用が1,716キロで、合計が1万6,937キロの出荷ということになっております。

それから、この取り組みのほうで新規取り組み者とか、拡大者ということでございますが、まだ具体的に誰がというのは想定はしてございませんが、この3月でJAを早期退職する方なんかもいらっちゃって、その方あたりを随分と期待しております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） 庁舎整備基金の関係でお尋ねをいただきました。予算書の20ページから21ページにかけまして、それぞれの基金の利子の歳入分が計上されておりますが、庁舎整備基金の利子がこちらに計上されていないかというようなお尋ねでございました。

庁舎整備基金の設置につきましては、昨年的一般質問の際に、今後の庁舎整備の財源とするために基金を設置して、計画的な積み立てをさせていただきたいということで、市長のほうからも答弁をさせていただきましたので、新年度に向けて庁舎整備基金の設置は当然予定していたところでございますが、当初予算編成の段階では、まだ具体的にその予算措置をどうするかということがまとまっておりませんでした。その関係もありまして、具体的なその基金の利子の額がこちらに計上できなかったということをおわび申し上げたいと思います。

3月補正の調整を進める中で、土地開発基金のほうから一部処分をいたしまして、庁舎整備基金のほうに積み立てるとということで御議決をいただいたところでございますので、新年度平成28年度予算につきましては、基金の利子分につきまして補正予算で措置をさせていただきたいと思いますので御理解を賜りたいと思います。

なお、現在、定期預金の利子が0.025%ということで非常に低い利率になっております。

こちらの運用を1つの基金だけで定期預金をやっても、あまり大きな利子効果は見込めないということもありますので、会計管理者のほうと今、協議しながら、複数の基金をまとめて預け入れすることで、ある程度の利率のいい運用ができるのではないかとということで進めてまいりたいというふうに考えておりますので御了解いただきたいと思ひます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 17番小森幸雄議員。

○17番（小森幸雄） 中山かぼちゃの昨年の生産量あるいは組合員の数、了解をいたしますが、いずれにしろ、ここまで地域のブランド、この那須烏山市の農産物の中で特化した中山かぼちゃでありますから、将来にわたって不安のないような支援あるいはその栽培について、JAとタイアップしながら、ぜひともこれを守り続けて本市の特産の最たるものにどんどん全国的に有名になっておりますから、ぜひ力を入れてこれからも進めていただきたいと希望申し上げます。

また、基金の関係につきましては、普通だったらば基金をつくったんですから、1,000円とかそのぐらひは書いておくのが筋であろうと私は思ひますが、いずれにしろ、この基金条例の制定は3月のこの定例議会に出しているんですから、当初予算に当然この載っけていても不思議ではないと、こう申し上げて私の質問を終わります。

○議長（佐藤昇市） 18番平塚英教議員。

○18番（平塚英教） それでは、当初予算でございますが、私も予算概要の中から政策別重点事業の欄を中心に質問してまいりたいと思ひます。

高齢者福祉タクシー事業でございますが、75歳以上の高齢者世帯への助成ということで752万円ということでございます。平成26年度の行財政報告書の実績状況を見ますと638万円ですね、平成25年度が620万円ということでございまして、実績からするとかなり増額されているんですが、これは今度デマンド交通、2つの市営バスを廃止してローカルにするんですけれども、それでなるべくこれを利用してもらうということで増額されたのか。全くこれは自然増で増額したのか、その辺お願いいたします。

次、2つ目、文化財調査費でございます。ここにもありますように、烏山城跡確認調査、長者ヶ平遺跡整備等ということで734万6,000円計上されてはいますが、この烏山城跡確認調査の部分はこのうち幾らなのか。これは私もずっとお願いしている件なのでございますが、いよいよ烏山城築城600年が応永24年、1417年の12月にあそこに館を築いて、応永25年の1月、1418年に移り住んだということでありまして、2018年の1月というのが目前ですよね。そういう意味では、やはり民間との協働というのを強く打ち出しておりますので、早目に各種関係団体を一堂に会して、そういう方々が主役となってどういう催し物

をやったらいいか。ちょっと相談をするような準備会とあったらいいのかな、そういうものを進めていただきたいなというふうに思います。

3番目、まちづくり団体支援事業、これはほかの議員、質問されましたですかね。わがまち協働推進事業費580万円、コミュニティー助成事業、地域コミュニティーへの助成事業250万円、このコミュニティー関係は去年500万円だったものが250万円になっております。なお、わがまち協働のほうは、昨年の行財政報告書を見ますと、まちづくり団体支援事業というのが大体85万円ぐらいですかね。わがまち協働推進事業というのが410万円だと思われま。

そういう意味で、前の議員全員協議会でまち・ひと・しごと創生総合戦略予算計上事業一覧というので、資料2-4ね、出されましたが、その中でまちづくり団体支援事業まちづくりチャレンジプロジェクト500万円、ここにまちづくり団体支援事業の従来のも80万円を足すと大体この580万円になるのかなと推測はするんですが、特に、このまちづくりチャレンジプロジェクトは継続のものが3つ、新規のものが2つというふうにあります、継続はどれで、新規は何をやるのか。その辺の考え方についてお示しをいただきたいと。

コミュニティー助成事業についても500万円が250万円になって、ことしは何をやるのか。この辺の説明をお願いいたします。

それで、私、経済建設常任委員会なので、この中山かぼちゃはなかなか質問しづらいんですけども、市長は常任委員会の審査には参りませんので、市長にお尋ねいたしますが、やはりどんなにいいものをつくっても、それがどんなにいいものだということがわからないと伝わらないんですよ。

したがって、アイスクリームつくったりしているのはわかるんですけども、まちの飲食店等で中山かぼちゃを提供できるようなところを協力店を多くつくって、あそこに行けば食べられますよと、こういうものをつくってもらいたいなというふうに思うんです。さらに、みなみちゃんかぼちゃ、これもコンパクトでございますのでブランドになるのかなというふうに思いますので、これも推奨品ということで進めていただきたいと思うんですが、これについて一言だけ御答弁をお願いしたいと思います。

それで、総体的な質問になりますが、1つは、ほかの議員も言うように、市の財政は非常に厳しいです。厳しいので、入りを多くして出を少なくすると、こういうようなやり方をしないと財政は保っていけないのかなというふうに思います。そういう意味で、1つは当初予算を今回計上されていますけれども、その中で財務会計処理上、年間にその項目ごとのやつをほかに流用するような金額、そういうものはどのぐらいあるのか。お願いしたいなというふうに思います。

例えば消耗品等で、器具、備品等を購入する場合があるのかなのか。そういう点とか、あるいは年間に物品を流用でも何でもいいから、購入した物品がちゃんと保管されているのか、なくなっているものはないのか。その辺の調べはあるのかなのか。その辺について御答弁をいただきたいと思います。

最後に、これも総括的な質問でございますが、今回も税収をいろいろ見込んでおりますけれども、那須烏山市に住所がなく、ほかに住んでいると、そして、那須烏山市に田畑や山を持っている。しかし、二度とここに戻らないし、そのものを利用する気もないと。こういう方々が、私の知っている人でも、市のほうにその土地を提供したい。こういう人を私、何人か知っているんですよ。それについて、それを簡単に言うと、これからの税金収納分ということで物納ということで受け取るようなことができないかどうか。それを質問したいと思います。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 大谷市長。

○市長（大谷範雄） 中山かぼちゃの件で御意見、御指摘をいただきました。ありがとうございます。中山かぼちゃは生産量は年々、今、縮小傾向であるので、その辺ちょっと危惧をいたしまして、過日、イオンリテールの役員さんとお話ししたときには、まだまだ欲しいというような要望もございました。そういったこともありまして、この拡大事業として新たな平成28年度の当初予算にある程度の応分の負担をさせていただくべく、計上させていただいた経緯がございます。

そういう中で、この2級品の製造につきましては、フタバ食品に依頼をいたし、協定書に基づきましてアイスクリームも話題ということなんですが、今、第2の商品を開発中でございますので、このことも御報告申し上げます。

そのようなところで、6次産業化については何とか成功した一事例かなと思っています。そこで、市内の状況でいきますと、議員御指摘のとおりで、そのカボチャがどこに販売されているのかわからないという声をよく受けるんですね。

そういったところでまだまだ市内における販売あるいは食事どころ、そういったところのPRも不足いたしておりますので、議員御指摘のところは十分理解できますので、今後私どもの市内の飲食店に協力を求めながら、そういったメニューをつくっていただくなり、あるいは試食ができる場の提供を協力していただくような対応を私なりに考えてみたいと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） それでは、まず1番目にお尋ねのありました高齢者福祉タクシーの件でございます。予算概要のほうでは752万円計上してございます。これにつきまして

ては、先ほど御指摘がありましたように、平成26年度の実績ですと638万円でございます。利用率が75.9%という数字が出ておりますけれども、本年も平成28年度も利用率については同じ程度を見ておりますが、75歳以上という対象者ですが、こちらの基礎的な数字がさっき言った278人から、平成28年は289人ということで、若干十数名ほど対象者が伸びておりますので、これで計算し直しをして対前年より金額が多くなっているということでございます。

これにつきまして、せっかく交付した利用券でございますので、どんどん使っていただくような啓発をして、利用率を毎年少しずつ上げる状況でございますので、少し上げた数字で金額を計上してございます。

また、最後になります、デマンド交通との整合性ですね。これは烏山地区がどんどんまたエリア拡大等々はなっておりますので、こちらの動向も見ながら注視をしながら、今後予算のほうをまた調整していくということになろうかと思えます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 両方文化振興課長。

○文化振興課長（両方 裕） 私のほうは予算概要7ページの文化財調査費734万6,000円のうち、烏山城跡関係の調査費につきましては、国庫補助事業を受けまして509万3,000円を予定してございます。補助率2分の1でございます。こちらにつきましては、平成28年度は三の丸の確認調査を予定してございます。

あわせて、烏山城の講演会につきましても、過去2回ほど実施しまして大変好評でございますので、平成28年度につきましても市の単独事業でございますが、20万4,000円を計上いたしまして実施をいたします。

また、築城600年祭につきましては、2018年1月に開城600年ということでございますので、年度で言いますと、平成29年度の1月末ということですので、実質的には平成30年度になってから記念事業を計画してございますので、平成28年度は文化財保護費のほうで検討委員会を立ち上げるということで報償費関係8万円ほど計上してございますので、今年度末にはメンバーのほうを人選しまして、年度当初には早急に検討委員会を立ち上げるという予定でございます。

○議長（佐藤昇市） 福田秘書政策室長。

○秘書政策室長（福田光宏） 私のほうから、まちづくり団体支援事業の580万円と、コミュニティー助成事業費250万円の内容について御説明させていただきます。

この中に主な事業内容ということで、わがまち協働推進事業というのは大変申しわけないんですが、平成27年度に終わっておりまして、平塚議員がおっしゃるとおり、まちづくりチャ

レンジプロジェクトの500万円とまちづくり支援事業の80万円でございます。

まちづくりチャレンジプロジェクトは平成27年度から始まっておりまして、継続するのは自立事業提案型のキャンパス烏山と那須烏山市木の駅プロジェクト、那須烏山市ふるさと応援隊という3つの事業でございます。新しく2事業については新年度になってから募集をいたしまして、審査会をしてやっていきます。あと、まちづくり団体支援事業については3団体、80万円ということになっておりますので、よろしく申し上げます。

それと、コミュニティー助成事業、ことしは250万円、1団体でございます。おはやしの太鼓をつくるということです。平成27年度は2団体、下境と南大和久、これも同じですね。おはやしの道具を直すということになっております。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） 坂本総合政策課長。

○総合政策課長（坂本正一） それでは、歳出予算の執行についてお尋ねがございましたのでお答えさせていただきます。

歳出予算の執行につきましては、当初予算並びに補正予算において措置された費目から執行するのが原則でございますが、緊急やむを得ないものにつきましては、予算規則に基づきまして他の費目への流用も認められております。その件数につきましては、今、手元ございませんので、後ほど御報告をさせていただきたいと思っております。

消耗品の予算の中で、備品に当たるものを購入していないかというお尋ねでございますが、予算の査定の中で備品等に該当するもの、一定以上の金額あるいは耐用年数をもったものは全て備品購入費のほうに計上するよう指導しておりますので、消耗費の中から備品の購入等はないというふうに思っております。

それから、備品で購入したものの経理と申しますか、についてどういうことなのかということなんですが、これについては備品購入費で購入したものについては備品台帳に全て記載する扱いとなっておりますので、その後、廃棄するまでは台帳のほうで管理をしているという扱いになってございます。

○議長（佐藤昇市） 國井副市長。

○副市長（國井 豊） 最後の質問であったと思いますが、市外に在住してまして、土地を市内に所有している方が、何らかの事情で市のほうに寄付をしたいとか、あるいは有効に使っていただきたいとかという申し出があった場合のことなのでありますが、今日までも何件かございまして、公有財産管理運用委員会等で議論してまいりましたけれども、市が寄付を受けるにしても、目的がなければ財産をむやみやたらに受け入れてしまうということとはできないというようなことがございますし、また、税法の関係で物納というものは、これはまた税法上可

能かというふうに思いますけれども、これ以外の有効活用については、例えば公共事業で代替地等で、そういうものがあてがえることができるか。そういうものが適切なところがあれば、そういうものには活用できる可能性はございます。

○議長（佐藤昇市） 18番平塚英教議員。

○18番（平塚英教） 最後に2点、1点目は福祉タクシー券の中身はわかったんですが、ちょっと私の質問が悪かったんですが、デマンドタクシーは月曜から金曜までしかやりませんよね。だから、土曜、日曜はデマンドタクシーやらないので使えないわけですよ。そのときに、その福祉タクシー券が有効ではないかなと思われまますので、大いにそれを活用していただきたいということでございます。

2つ目には、消耗品費で備品を買うことはない、それは備品費に流用して備品費として、あるいは器具備品費として購入していると。こういうことですね。しかし、その伝票だけが消耗品でありながら、機械器具備品が購入された場合には、当然備品台帳には記載されないわけですから、それがきちんと在庫管理されるかどうかわかりませんよね。

だから、私が言いたいのは、そのいわゆる合法的な財務会計処理の中での流用は結構ですが、今までの行政執行上の慣例に基づいて、とにかくこれは中の人しかわからないんだからというようなことで、伝票は消耗品代、だけれどもそれで器具備品を買って、そしていつの間にかそれがなくなるというようなことが、そういうような悪しき慣例はなくしていただきたい。

ないということであれば結構なんです、それを庁内で徹底していただきたいということ、今までないということであればそれで結構なんです、徹底していただきたいということを訴えて質問を終わりたいと思います。

○議長（佐藤昇市） 網野健康福祉課長。

○健康福祉課長（網野 榮） 高德議員の御質問の中で答弁漏れがありましたので、報告をしたいと思います。

介護予防生活支援サービスのその対象者人数のお尋ねがございました。これについては、300人を想定してございます。内訳としましては、現在、要支援の1と2の認定を受けている者。そのうちサービスを使っているものが約296名でございます。そちらを基礎としまして、若干の増を4名ほど見込みまして、300名を想定して予算組みをしてございます。

以上でございます。

○議長（佐藤昇市） ここで休憩いたします。

休憩 午後 3時10分

再開 午後 3時19分

○議長（佐藤昇市） 休憩前に引き続き再開いたします。

15番中山五男議員。

○15番（中山五男） 私のために、また再開することになって本当に申しわけなく思っています。しばらくの間、御辛抱いただきたいと思います。

それでは、早速質問させていただきます。まず、この予算書の中から、市長に対して質問2点、要望1点から始めたいと思います。まず、予算書の職員の昇給の欄を見ますと、一般会計から特別会計、合わせますと251人分の職員給が提供されておりますが、そのうち212人が昇給または昇格をすることになっております。

そこで、申し上げたいことは、この4月には7名の新しい課長が誕生することになりますね。でありますから、ぜひ、前にも申し上げましたが、年々50歳前後で能力のある職員を課長に昇格させていただきたい。ぜひ努力を重ねている職員が報いられるような人事をやっていただきたいと思っております。

2点目は、藤田地内の遊歩道ですが、これは災害復旧の件なんです。5年前の震災で崩壊してそのままになっております遊歩道、今、通行どめになっております。この3月いっぱい林務関係の仕事が終わりますので、改修さえすればまた遊歩道は復旧しますので、ぜひこれは速やかに復旧計画をすべきと思いますが、このことについてまず市長はどのように考えているか。

それと、自然休養村関係なんです。建物を解体した後、更地になっておりますね。これ、利用計画は市長として何か考えているのか。もし、考えていなかったら、私、前に小学生を対象に育樹祭を実施しております。ことしは、ここを会場にして植樹祭を実施したらいかかかと思っておりますので、このことも検討していただきたいと思います。

3点目は、南那須武道館、これは被災当時からも解体が決定してましたね。もう使いものにならないと、ところが解体費の予算がまだ計上されておられません。もう借地料は年間96万9,000円ほど払っているんですが、もう5年間分、私は無駄な金を払ってしまったのではないかとそのようにも考えています。吊り橋のアンカーの部分と弓道場の用地、これは残さなくてはならないんですが、これらを残して、あとは速やかに解体をし、地主さんにお返しすべきではないかと思っております。

以上3点にまず市長に質問したいと思っております。

次に、我々議員に配付されております予算概要書、これを見ますとおおよそ500もの事業が記載されておりますね。その中から質問をしたいと思っております。まず、総務管理費なんです。この中にホームページに係る予算が400万円あります。これに関してなんです。この個人情報の流出が社会的な問題になっておりますね。そこで、このセキュリティー対策、これは

万全なんでしょうか。これ、事務処理を業者に委託しておりますね。これらについても、私は非常に心配をしておりますが、この辺についてお伺いをしたいと思います。

次に、これは新しい事業で、総合戦略推進事業、これはこの予算書関係を見ると、審議会の運営費とありますね、300万4,000円あります。これについて具体的な内容の説明をお願いしたいと思います。

次に、防犯対策費、去年は80万円ほどでしたが、ことは331万1,000円載っておりますね。この使途についてお伺いします。

次に、定住促進住まいづくり奨励金、もう既に同僚議員からの質問がありますが、これまでに成果が上がったとみなしているんでしょうか。もし、この定住促進の奨励金を交付しなかったら、さらにもっともって那須烏山市の人口は減ったと、そうみなしているのか、私はこの辺のところ、ちょっと疑問に思っているところであります。

次に、これもやはり同僚議員からもう既に質問がありましたが、年間賃貸住宅の家賃補助ですね、これは市内に予算に見込んだだけの空き部屋があるんでしょうか。この辺のところを見越した上でこの720万円の予算計上をしたのかどうかをお伺いします。

次に、労働費の中の雇用対策事業費の中の地域雇用創造協議会の交付金720万円ですね。これほどの多額の交付金を支払って、市民に安定した雇用ができるのかどうか。これにつながるのかどうか、これについてお伺いします。

次に、農林水産特産物ですね、これは毎年毎年100万円ずつ計上しております。ですから、もう合併後も1,000万円になるわけなんですけど、これまでにこの成功した例が幾つあるのか。本当にこれは市長も投資効果があるとみなして担当課に予算計上させているんでしょうか。このことが私も少々疑問に思っております。

次に、景観形成作物ですね。これももう既に質問があったわけなんですけど、レンゲとヒマワリを栽培すると言っておりますね。どうも今まではこのレンゲ、ヒマワリの植栽する植物の特性というのを研究しないままつくっていたような気がするんですよ。例えばレンゲなんかも、まいたのはいいが生えなかった。ヒマワリも烏山線に背を向けて咲いてしまったと、そのようなことが指摘をされております。それで、このレンゲは多分平成27年度の予算で、去年まいたはずなんですけど、今のところはすくすくと成長しておりますか。このことについてお伺いします。

これは新しい事業名なんですけど、農地集積集約化対策事業とありますね。これは昨年までの農地中間管理事業、これが名称が変わっただけなのか。金額も去年770万円、ことは860万円になっていますから、これで間違いはないのかなとも思っています。間違いがないならば答弁は必要ありません。

次に、新規就農支援事業ですね。これは去年は300万円当初予算でとったんですが、途中カットして180万円になってしまいました。にもかかわらず、ことしも410万円計上したわけなんです、定住の見込みがあるのかですね。本市の農業振興にどのようなことが期待できるのかですよ、これだけのお金を投資して。このことについてお伺いします。

農業基盤整備促進事業として768万円計上しておりますが、この事業、どのような事業なのかお伺いをします。

次に、畜産振興費、これは渡辺議員が先ほど質問をしましたが、私、去年もこのことについて質問しました。なぜ市の補助金の上乗せができないのかということですよ。この農業費とかそれぞれの商工業関係の費用では、相当多額のまちの助成金というものを支出していますが、畜産振興に限っては、ほとんど補助事業は出していませんね。助成していませんね。支援していません。ぜひこれは考えるべきではないかと思っています。

それと、去年は3,000万円ほどの予算計上して、途中この3月に2,500万円カットしまして480万円ほどしか残さなかったですね、課長。ことしまたまた、9,600万円の予算を計上したんですが、間違いなくことしは予算カットすることなく事業ができるんでしょうか。

次に、林業費の中の元気な森づくり推進事業です。これは県の補助金が3,511万9,000円載っているんですよ。ところが、支出では2,825万6,000円で、補助金よりも686万3,000円ほど少ないんですが、これはどこの事業に回しているのか。どうも私、見当たらなかったものですから、お伺いをしたいと思います。

次に、今度は商工費です。商工振興対策費として去年も補正を含めましておよそ600万円ほど計上しておりますね、課長。ことしは1,585万円と多額の予算を計上したわけなんです、これでいかなる投資効果があらわれるのか。どのようなことを期待しているのかをお伺いしたいと思います。

次に、企業誘致事業、このことについても同僚議員から質問がありました。ここで言う、誘致事業といってよそから誘致する、そのための費用かなと思ったんですよ、5,788万円も計上しておりますから、しかし、そうでもないようなんですが、この現在、市内にある企業の優遇策というのは具体的にどのようなことで支援しているのか、これについてお伺いをします。

次に、同じ商工事業なんです、新事業創出支援事業、267万7,000円、去年と同じ予算を計上しておりますが、これ、期待される効果、どのようなものがあるのかお伺いをします。

次に、ふるさと観光資源活性化事業ですね。去年は740万円、ことしは550万円と少な

くなっているんですが、このことについてもこの投資効果、どのようなことを期待して予算を組まれたのかお伺いをします。

次に、都市建設課の関係にちょっと関係するんですが、中心市街地の整備状況、この中で烏山線のトイレ等の整備をしていますね。私、昨年6月の一般質問の中で、烏山線の各駅にトイレと駐車場をぜひ整備すべきではないかと質問をしました。よく検討しますということだったんですが、いまだにそのまま、ほとんど改善されていませんが、このことについて、例えば小堀とか鴻野山駅、滝の駅もトイレがなくても大丈夫なのか。この辺についてお伺いします。

もう1点、これ、都市建設課で泉公園の整備事業として550万円を計上しております。これ、具体的にどのように整備するのか、これについてお伺いします。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 大谷市長。

○市長（大谷範雄） 私には3点ほど御質問いただきました。順序に従いましてお答えいたします。

まず、人事の件で、課長昇任の件でございます。議員御指摘のように、平成28年度は数名の新たな課長が誕生する予定でございます。意欲、能力等をよく勘案しながら、それにたけている職員については大いに登用してまいりたいと考えております。

次に、藤田地内遊歩道、さらに崩壊をした跡地ですね。この復旧計画及び跡地利用について御質問がありました。自然休養村から小白井より山腹崩壊箇所につきましては、県の森林環境事務所で災害の復旧工事を行っております。その箇所にございました遊歩道も被災いたしましたけれども、栃木県あるいは土地所有者と協議をいたしまして、現在、作業道として使っております。そのまま残して道路として確保する計画をしております。いわゆる赤道ですね。今後、その赤道整備に向けて、安全施設そして路面の整地を行う。このような計画といたしております。

もう一つの跡地利用についての育樹祭の提案がございましたが、御意見、御要望ということでお聞きさせていただきたいと思っております。あそこもそのようなことで林に戻すのが一番いいのかなと個人的にはそのように考えております。

もう一つ、南那須武道館の解体でございます。2つ課題がございまして、まず地権者との調整と補助金の問題で、栃木県との調整がまだついていないという課題があるんですね。地権者との調整は、まだ調整がついていないということでございますが、武道館を解体して更地にして返還できる部分は一部ということでございます。分筆をしないと返せないということがあるんですね。平成28年度には地権者と調整を早く行いながら、一部でも返せる部分については返還をして、身軽にしていきたいなと考えています。

また、武道館は御案内のように補助金を活用して建設をいたしておりますので、この県との

協議がまだ調整がついていないということでございますので、そのようなことを平成28年度中にはちょっとスピード感を持って県との協議を進めていきたいと思っておりますので、ひとつ御理解をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 福田秘書政策室長。

○秘書政策室長（福田光宏） 私のほうから2点答弁させていただきます。ホームページを含む情報セキュリティ対策は委託業者も含め万全かというのと、2点目、総合戦略推進事業300万4,000円の内容について答弁させていただきます。

情報セキュリティ対策については、これまでも万全な体制にてセキュリティの確保に努めてまいりました。特に、平成29年7月からはマイナンバー制度に伴う本格的な個人情報の自治体間連携が開始されることとなりますが、国の補助金等も活用しながら、より一層技術的にセキュリティ対策を進めていきたいと思っております。

職員を初めとして人的セキュリティの強化を努めたいと考えております。また、委託業者につきましても、マイナンバー制度の運用開始に当たり、相当なノウハウを蓄積しており万全な体制が整っております。こうした専門的分野に対するアドバイス等も参考にしながら、万全な体制のセキュリティ対策に努めることにしております。

なお、先ほどの3月2日の3月補正で情報セキュリティ対策として1,609万1,000円の予算を計上して全額繰り越しております。内容といたしましては、基幹系システム個人番号利用事務として完全に分離されたネットワークとし、情報持ち出し制御や生体認証によるなりすましを防護する。また、インターネットを業務系システムから分離し、メールの無害化を図るという万全な体制を進めております。

2点目の総合戦略推進事業費300万4,000円の内容について答弁させていただきます。平成30年度から、次期総合計画を策定するに当たり、現計画の評価、検証、さらには基本計画策定業務支援等に対する委託料として220万円、審査会報酬等の経費として80万4,000円を計上しております。合計で300万4,000円でございます。

以上で終わります。

○議長（佐藤昇市） 清水総務課長。

○総務課長（清水敏夫） 私のほうからは2点、御説明させていただきます。

まず、防犯対策費の用途はということで331万1,000円増額している件でございますが、これにつきましては、実は警察官OBで安全相談員ということで、本年度から嘱託職員、事務職員で採用しております。これまで予算科目は総務管理のほうで計上しておりましたが、やはり不当要求とかいろいろ職員等に関係する暴力行為、いろいろな社会問題化する事案につ

いて対応してもらおうというような見地から、平成28年度からは防犯対策費のほうに計上させていただきます。そのようなことで、250万円ほど増額になっておりましたが、安全相談員という警察官OB雇用の人件費でございます。

それと、都市計画費のところ、烏山線滝駅、小埜、鴻野山のトイレ設置計画はという関係ですが、管財のほうで担当しておりますので説明をさせていただきます。実際、トイレの設置計画、中山議員から提案をいただいたんですが、こちらについてはあまり進んでいないというのが現状でございます。なお、滝駅につきましては、龍門の滝方面に行った100メートル先ぐらい、右側にはトイレは整備されております。小埜駅については、駐車場を整備したところでございますが、あと駐輪場の整備も行いましたが、トイレ等についてはまだ検討はされておられません。

また、これらについては利用者数、また使用頻度、そこら辺もよく調査しないと、小埜駅については設置の必要性があるかどうかというのはちょっと検討しなければいけないと思います。

それと、鴻野山駅につきましては、やはり昨年ですかね、転回場等も設置させていただきました。本格的な駐車場とかそういう駐車スペースということではなくて、朝夕の烏山線利用者の送り迎えの車の安全対策のためということで、借地により転回場等を設置させていただきました。これらについても、鴻野山駅同様トイレが必要かどうか調査をさせていただいて、今後検討していきたいと思います。

私、個人ごとながら、鴻野山駅につきましては、実はここ2年ぐらいやっていないんですが、烏山線沿線ウォークという宝積寺から烏山駅まで歩くイベントを行っております。これに関して仁井田駅から大金駅までの間がトイレがない、5キロ以上なくて困っているということもありますので、そういう事業を行う場合には非常に有効かなということで、個人では感じております。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 堀江商工観光課長。

○商工観光課長（堀江功一） 商工観光課関係の質問、6件ありましたので順次説明させていただきます。

まず、総務管理費でありました定住促進住まいづくり奨励金、これまでの成果ということでございます。歴史的に振り返ってみますと、まず、これが最初にできたのが平成19年から平成24年までの5年間ということでございまして、3つの区分に分けて奨励金を出してまいりました。住宅、土地取得で30万円、住宅のみで20万円、空き家で15万円ということでやっております。

その結果についてのアンケートの分析を平成24年5月に行って、その後の対応を検討した

ところですが、そのアンケートの結果に基づきまして、そのときの成果の報告には、人口増加にはならなかったが住宅建替え効果はあったはず。家を求めた定住者の満足度は高かった。何よりPR効果があったと自負しているということで、その成果があって、また、平成25年から平成29年までの5年間についての、定住促進の住まいづくり奨励金がスタートしたところでございます。

前回の奨励金から今度は政策加算を盛り込んだめり張りをつけたものにして始まっております。基本額が今度は20万円、それに転入加算が10万円、市内施工業者加算が10万円ということで最高40万円という制度で始まりました。当時、このような枠組みのことはなかったということでの報告もありました。

その成果については、現在3年目ということで、アンケートの分析はまだやっていますが、今後、具体的にアンケートが出ましたら公表したいと思います。この奨励金は市に住むきっかけになりましたかの質問がありまして、前回の奨励金の回答では26.4%ですが、現在途中までの経過、3年間の経過では38.2%に上がっているというふうに増えているところでございます。

制度の満足度が上がったということで私ども、解釈しております。こうした市民満足度の向上は自分の住んでいるところのまちをよく知って、そして誇りを持つことにつながるなど思っております。今後も、平成29年度までの時限立法ですので、引き続き努力していきたいと思っております。

次に、労働費雇用対策事業費の地域雇用創造協議会ということでございますが、先ほども回答いたしました。これにつきましては、上境での森林組合跡地の事務所で行っています地域雇用創造協議会、ことしの3月で3年目ということで事業が終了するわけです。1億1,000万円ほどの事業費を国から10分の10でいただきまして、123名の雇用ということで、雇用についてはもうその事業に対しては達成をしておりますが、ただ、この国の委託事業が3月で終了するんですが、いただいていた国への実績報告がありまして、6月末日になっています。そのことや各種の精算の事務が6月末まで続くことありますので、今現在のメンバーがそのまま3カ月間続けて、そのための経理を行うために、その部分は国の補助金はないので市単独ということでございます。

なお、先ほども言いましたが、平成28年度からにつきましても、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、実践型地域雇用事業につきましては国に事業を申請しております。2月19日付で国に出しております。私もこのヒアリングが明日ありますので、厚生労働省にほうに行ってヒアリングを受けてきたいと思っております。採択は5月末日になりますので、また、採択になれば7月から事業が開始するというところでの流れだということでございます。

次が商工費になります。商工費の商工振興対策費ということです。商工費の予算では47ページになるものですが、商工振興対策費1,585万円ということですが、これにつきましては、商工支援対策事業費、内容ですね、いろいろな商工業に対する支援事業が数多くあります。その中で、市内の商店が、市外への出店、イベントに参加するための事業費補助金ということで2分の1、7件分、70万円を予定しております。今年度は4件ありました。

そのほかに空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業補助金ということで、平成25年からできていますが、今のところ実績がないものですから、とりあえずは1件150万円ほど載っています。

3つ目が、この中には商品券発行支援事業費ということで、今年度を1,500万円助成して、商工会が総額1億1,500万円で発行するための事業でございましたけれども、説明しましたが、こういうことで7月頃から実施するための費用、それを合わせて、その3点の事業が商工振興対策費ということになります。

次が、企業誘致、現企業への優遇策はということで、先ほども説明しましたが企業立地奨励金事業ですが、この中身は市内の工場等の新設や既存の工場等の規模拡大に対して、固定資産税の3,000万円以上の事業を拡大をしたものに対して助成するというので、先ほど説明しましたように今回は20件になり、その事業が大きな太陽光発電所の関係が出てきたものですから、昨年の2,700万円に対して金額的には多くなって7,500万円ほどになってきたということになります。

次が、新事業創出支援事業ということですが267万7,000円ということの内容ですが、これは事業の中身は補助金ということで、今、企業支援のための支援施設として商工会前にベンチャープラザを設置しておりますが、その運営するための事業が150万円、そのほかに産学連携事業とか、企業競争力強化支援事業ということで、限度額50万円の事業がありますので、それがそれぞれ50万円、50万円を予算計上しております、そのほかには旅費とか県北産業交流会の負担金とかが入っている事業でございます。

次が、ふるさと観光資源活性化事業は、先ほど説明しましたように、いかんべ祭と山あげ祭の関係の事業費になっておりまして、去年より落ちたのはイルミネーション関係の事業費が200万円落ちたところでございます。

以上です。

○議長（佐藤昇市） 休憩します。

休憩 午後 3時50分

再開 午後 3時51分

○議長（佐藤昇市） 再開します。

中山五男議員。

○15番（中山五男） まだ回答のもらえない部分が幾つかあるんですが、これは各課長、何らかの形で後日回答いただければありがたいと思います。

以上で終わります。

○議長（佐藤昇市） ほかに質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（佐藤昇市） 異議なしと認めます。

よって、これで質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま上程中の議案第1号から議案第9号までについては、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（佐藤昇市） 異議なしと認めます。

よって、議案第1号 平成28年度那須烏山市一般会計予算についてから議案第9号 平成28年度那須烏山市水道事業会計予算については、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

---

○議長（佐藤昇市） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の本会議は3月17日午前10時に開きます。

本日はこれで散会いたします。大変御苦労さまでした。

〔午後 3時52分散会〕